（様式第 10）

九大院医医第　１１１　号
平成２６年１０月　３日

九州厚生局長　殿

九州大学病院長　石　橋　達　朗　（印）

# 九州大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成２５年度の業務に関して報告します。

記

## 1　開設者の住所及び氏名

| | |
|---|---|
| 住　　所 | 〒812-8581　福岡市東区箱崎6-10-1 |
| 氏　　名 | 国立大学法人九州大学 |

（注）　開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

## 2　名　　称

九州大学病院

## 3　所在の場所

〒812-8582　福岡市東区馬出３－１－１

電話(092)641－1151（代表）

## 4　診療科名

### 4-1 標榜する診療科名の区分

1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜

2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

（注）　上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

### 4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 内科 | | | | | | 有　・　無 |
| 内科と組み合わせた診療科名等 | | | | | | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 診療実績 | | | | | | |

（注）１　「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

（注）２　「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

（注）３　「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

| | |
|---|---|
| 外科 | 有 ・ 無 |
| 外科と組み合わせた診療科名<br>1　2　3　4　5　6　7<br>8　9　10　11　12　13　14 | |
| 診療実績 | |

(注) 1　「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2　「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

| |
|---|
| 1精神科　2小児科　3整形外科　4脳神経外科　5皮膚科　6泌尿器科　7産婦人科<br>8産科　9婦人科　10眼科　11耳鼻咽喉科　12放射線科　13放射線診断科<br>14放射線治療科　15麻酔科　16救急科（H26.10.1標榜） |

(注)　標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

| | |
|---|---|
| 歯科 | 有 ・ 無 |
| 歯科と組み合わせた診療科名<br>1　2　3　4　5　6　7 | |
| 歯科の診療体制 | |

(注) 1　「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2　「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4) 以外でその他に標榜している診療科名

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |

(注)　標榜している診療科名について記入すること。

5　病床数

| 精　神 | 感染症 | 結　核 | 療　養 | 一　般 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|
| ９３床 | 床 | 床 | 床 | １，１８２床 | １，２７５床 |

６　医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

（平成２６年９月１日現在）

| 職　種 | 常　勤 | 非常勤 | 合　計 | 職　種 | 員　数 | 職　種 | | 員　数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 医　　師 | ４０２人 | １８３．４人 | ５８５．４人 | 看護補助者 | ３３．５人 | 診療エックス線技師 | | ０人 |
| 歯科医師 | １４７人 | ５８．８人 | ２０５．８人 | 理学療法士 | １８人 | 臨床検査 | 臨床検査技師 | ９２．３人 |
| 薬剤師 | ７９人 | ０人 | ７９人 | 作業療法士 | ８人 | | 衛生検査技師 | １人 |
| 保健師 | ０人 | ０人 | ０人 | 視能訓練士 | ５．５人 | | そ　の　他 | ０人 |
| 助産師 | ３７人 | ２．３人 | ３９．３人 | 義肢装具士 | ０人 | あん摩マッサージ指圧師 | | ０人 |
| 看護師 | １１７２人 | ９．２人 | １１８１．２人 | 臨床工学技士 | １１人 | 医療社会事業従事者 | | ４人 |
| 准看護師 | ０人 | ０人 | ０人 | 栄　養　士 | ０人 | その他の技術員 | | １２．５人 |
| 歯科衛生士 | １８人 | ０人 | １８人 | 歯科技工士 | ５人 | 事　務　職　員 | | ２４５．９人 |
| 管理栄養士 | ６人 | ０人 | ６人 | 診療放射線技師 | ６２人 | その他の職員 | | １４５．６人 |

（注）１　申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。

２　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

３「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下２位を切り捨て、小数点以下１位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

７　専門の医師数

（平成26年9月1日現在）

| 専門医名 | 人　数 | 専門医名 | 人　数 |
|---|---|---|---|
| 総合内科専門医 | 22人 | 眼科専門医 | 10人 |
| 外科専門医 | 53人 | 耳鼻咽喉科専門医 | 11人 |
| 精神科専門医 | 12人 | 放射線科専門医 | 29人 |
| 小児科専門医 | 30人 | 脳神経外科専門医 | 8人 |
| 皮膚科専門医 | 8人 | 整形外科専門医 | 19人 |
| 泌尿器科専門医 | 11人 | 麻酔科専門医 | 19人 |
| 産婦人科専門医 | 22人 | 救急科専門医 | 9人 |
| | | 合　計 | 263人 |

（注）　人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下１位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

８　前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

| | 歯科等以外 | 歯科等 | 合　計 |
|---|---|---|---|
| １日当たり平均入院患者数 | 1,018人 | 33人 | 1,051人 |
| １日当たり平均外来患者数 | 2,069人 | 671人 | 2,740人 |
| １日当たり平均調剤数 | | | 1,875.5剤 |
| 必要医師数 | | | 231.2475人 |
| 必要歯科医師数 | | | 38.22人 |
| 必要薬剤師数 | | | 35.01人 |
| 必要（准）看護師数 | | | 620.86人 |

（注）１　「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯

科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2　入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数（毎日の 24 時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。
3　外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4　調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5　必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

9　施設の構造設備

| 施設名 | 床面積 | 主要構造 | 設備概要 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 集中治療室 | 166.98 $m^2$ | 鉄筋コンクリート | 病床数 | 10床 | 心電計 | 有・無 |
| | | | 人工呼吸装置 | 有・無 | 心細動除去装置 | 有・無 |
| | | | その他の救急蘇生装置 | 有・無 | ペースメーカー | 有・無 |
| 無菌病室等 | ［固定式の場合］ 床面積 1,203.4 $m^2$　病床数 56 床<br>［移動式の場合］ 台数　台 | | | | | |
| 医薬品情報管理室 | ［専用室の場合］ 床積　$m^2$<br>［共用室の場合］ 共用する室名 | | | | | |
| 化学検査室 | 1,597$m^2$ | SRC | （主な設備） 冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置 | | | |
| 細菌検査室 | 623$m^2$ | SRC | （主な設備） 冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置 | | | |
| 病理検査室 | 371$m^2$ | SRC | （主な設備） バーチャルスライドスキャナー、自動免疫染色装置 | | | |
| 病理解剖室 | 350$m^2$ | SRC | （主な設備） ラミナフローユニットバイオハザード解剖台 | | | |
| 研究室 | 0$m^2$ | | （主な設備） | | | |
| 講義室 | 0$m^2$ | | 室数　室 | | 収容定員　人 | |
| 図書室 | 0$m^2$ | | 室数　室 | | 蔵書数　冊程度 | |

（注）1　主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
　　2　主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10　紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

| 算定期間 | | 平成25年9月1日～平成26年8月31日 | |
|---|---|---|---|
| 紹介率 | 85.0% | 逆紹介率 | 63.0% |
| 算出根拠 | A：紹介患者の数 | 22,421人 | |
| | B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数 | 17,855人 | |
| | C：救急用自動車によって搬入された患者の数 | 1,685人 | |
| | D：初診の患者の数 | 28,352人 | |

（注）1　「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。
　　2　「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。
　　3　A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

（様式第2）

# 高度の医療の提供の実績

## 1 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

| 先 進 医 療 の 種 類 | 取扱患者数 |
|---|---|
| 重症BCG副反応症例における遺伝子診断 | 0人 |
| 難治性眼疾患に対する羊膜移植術 | 1人 |
| IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価 C型肝炎 | 0人 |
| 歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法 | 7人 |
| 腹腔鏡下スリーブ状胃切除術 | 0人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

# 高度の医療の提供の実績

## 2 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

| 先進医療の種類 | 取扱患者数 |
|---|---|
| 内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術 | 0人 |
| 根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援 | 0人 |
| ボルテゾミブ静脈内投与、メルフェラン経口投与及びデキサメタゾン経口投与の併用療法 | 0人 |
| パクリタキセル腹腔内反復投与療法 | 0人 |
| ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 | 0人 |
| 術後のホルモン療法及びS－1内服投与の併用療法 | 0人 |
| ラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術 | 0人 |
| オクトレオチド皮下注射療法 | 0人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

# 高度の医療の提供の実績

## 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾　患　名 | 取扱患者数 | 疾　患　名 | 取扱患者数 |
|---|---|---|---|
| ・ベーチェット病 | 210人 | ・膿疱性乾癬 | 11人 |
| ・多発性硬化症 | 271人 | ・広範脊柱管狭窄症 | 人 |
| ・重症筋無力症 | 人 | ・原発性胆汁性肝硬変 | 144人 |
| ・全身性エリテマトーデス | 461人 | ・重症急性膵炎 | 34人 |
| ・スモン | 6人 | ・特発性大腿骨頭壊死症 | 365人 |
| ・再生不良性貧血 | 66人 | ・混合性結合組織病 | 36人 |
| ・サルコイドーシス | 155人 | ・原発性免疫不全症候群 | 144人 |
| ・筋萎縮性側索硬化症 | 88人 | ・特発性間質性肺炎 | 47人 |
| ・強皮症，皮膚筋炎及び多発性筋炎 | 258人 | ・網膜色素変性症 | 598人 |
| ・特発性血小板減少性紫斑病 | 130人 | ・プリオン病 | 3人 |
| ・結節性動脈周囲炎 | 47人 | ・肺動脈性肺高血圧症 | 80人 |
| ・潰瘍性大腸炎 | 382人 | ・神経線維腫症 | 91人 |
| ・大動脈炎症候群 | 66人 | ・亜急性硬化性全脳炎 | 3人 |
| ・ビュルガー病 | 37人 | ・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群 | 5人 |
| ・天疱瘡 | 8人 | ・慢性血栓塞栓性肺高血圧症 | 27人 |
| ・脊髄小脳変性症 | 85人 | ・ライソゾーム病 | 19人 |
| ・クローン病 | 195人 | ・副腎白質ジストロフィー | 7人 |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎 | 30人 | ・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体) | 342人 |
| ・悪性関節リウマチ | 5人 | ・脊髄性筋委縮症 | 88人 |
| ・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病) | 247人 | ・球脊髄性筋委縮症 | 8人 |
| | | ・慢性炎症性脱髄性多発神経炎 | 47人 |
| ・アミロイドーシス | 20人 | ・肥大型心筋症 | 52人 |
| ・後縦靭帯骨化症 | 1人 | ・拘束型心筋症 | 人 |
| ・ハンチントン病 | 人 | ・ミトコンドリア病 | 5人 |
| ・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症) | 81人 | ・リンパ脈管筋腫症(LAM) | 17人 |
| ・ウェゲナー肉芽腫症 | 17人 | ・重症多形滲出性紅斑(急性期) | 6人 |
| ・特発性拡張型(うっ血型)心筋症 | 105人 | ・黄色靭帯骨化症 | 人 |
| ・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群) | 21人 | ・間脳下垂体機能障害(PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症) | 人 |
| ・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型) | 3人 | | |

（注）「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

# 高度の医療の提供の実績

## 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（基本診療料）

| 施 設 基 準 の 種 類 | 施 設 基 準 の 種 類 |
|---|---|
| ・特定機能病院入院基本料（一般病棟7対1） | ・新生児特定集中治療室退院調整加算 1 |
| ・特定機能病院入院基本料（精神病棟15対1） | ・新生児特定集中治療室退院調整加算 2 |
| ・臨床研修病院入院診療加算（医科・歯科） | ・新生児特定集中治療室退院調整加算 3 |
| ・救急医療管理加算 1 | ・救急搬送患者地域連携紹介加算 |
| ・超急性期脳卒中加算 | ・救急搬送患者地域連携受入加算 |
| ・妊産婦緊急搬送入院加算 | ・総合評価加算 |
| ・診療録管理体制加算 1 | ・病棟薬剤業務実施加算 |
| ・急性期看護補助体制加算（50対1） | ・データ提出加算2 |
| ・看護職員夜間配置加算 | ・救命救急入院料1 |
| ・看護補助加算 1 | ・救命救急入院料4 |
| ・療養環境加算 | ・特定集中治療室管理料 3 |
| ・重症者等療養環境特別加算 | ・総合周産期特定集中治療室管理料 |
| ・無菌治療室管理加算2 | ・新生児治療回復室入院医療管理料 |
| ・緩和ケア診療加算 | ・小児入院医療管理料1 |
| ・精神科身体合併症管理加算 | ・地域歯科診療支援病院歯科初診料 |
| ・摂食障害入院医療管理加算 | ・歯科外来診療環境体制加算 |
| ・がん診療連携拠点病院加算 | ・歯科診療特別対応連携加算 |
| ・栄養サポートチーム加算 | ・地域歯科診療支援病院入院加算 |
| ・医療安全対策加算1 | ・歯科治療総合医療管理料 |
| ・感染防止対策加算1 | ・在宅患者歯科治療総合医療管理料 |
| ・感染防止対策地域連携加算 | ・ |
| ・患者サポート体制充実加算 | ・ |
| ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算 | ・ |
| ・ハイリスク妊娠管理加算 | ・ |
| ・ハイリスク分娩管理加算 | ・ |
| ・退院調整加算 | ・ |

（様式第2）

# 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療料）

| 施設基準の種類 | 施設基準の種類 |
|---|---|
| ・心臓ペースメーカー指導管理料（植込型除細動器移行加算） | ・胎児心エコー法 |
| ・高度難聴指導管理料 | ・ヘッドアップティルト試験 |
| ・糖尿病合併症管理料 | ・人工膵臓 |
| ・がん性疼痛緩和指導管理料 | ・皮下連続式グルコース測定 |
| ・がん患者指導管理料 1 | ・長期継続頭蓋内脳波検査 |
| ・がん患者指導管理料 2 | ・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図 |
| ・がん患者指導管理料 3 | ・脳磁図 |
| ・外来緩和ケア管理料 | ・神経学的検査 |
| ・移植後患者指導管理料（臓器移植後の場合）（造血幹細胞移植後の場合） | ・補聴器適合検査 |
| ・糖尿病透析予防指導管理料 | ・ロービジョン検査判断料 |
| ・外来放射線照射診療料 | ・コンタクトレンズ検査料1 |
| ・ニコチン依存症管理料 | ・内服・点滴誘発試験 |
| ・ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅱ） | ・センチネルリンパ節生検（乳がんに係るものに限る。） |
| ・がん治療連携計画策定料 | ・画像診断管理加算2 |
| ・がん治療連携管理料 | ・ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影 |
| ・認知症専門診断管理料 | ・CT撮影及びMRI撮影 |
| ・肝炎インターフェロン治療計画料 | ・冠動脈CT撮影加算 |
| ・薬剤管理指導料 | ・外傷全身CT加算 |
| ・医療機器安全管理料1及び2 | ・大腸CT撮影加算 |
| ・持続血糖測定器加算 | ・心臓MRI撮影加算 |
| ・造血器腫瘍遺伝子検査 | ・抗悪性腫瘍剤処方管理加算 |
| ・HPV核酸同定検査及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定） | ・外来化学療法加算1 |
| ・検体検査管理加算（Ⅳ） | ・無菌製剤処理料 |
| ・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算 | ・心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算を含む。） |
| ・植込型心電図検査 | ・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算を含む。） |
| ・時間内歩行試験 | ・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算を含む。） |

（様式第2）

# 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療料）

| 施 設 基 準 の 種 類 | 施 設 基 準 の 種 類 |
|---|---|
| ・呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算を含む。） | ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 |
| ・外来リハビリテーション診療料 | ・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術 |
| ・認知療法・認知行動療法 | ・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術 |
| ・精神科作業療法 | ・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術（レーザーシースを用いるもの） |
| ・精神科ショート・ケア「小規模なもの」 | ・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術 |
| ・精神科デイ・ケア「小規模なもの」 | ・大動脈バルーンパンピング法（IABP法） |
| ・抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。） | ・補助人工心臓 |
| ・医療保護入院等診療料 | ・植込型補助人工心臓（拍動流型及び非拍動流型） |
| ・エタノールの局所注入（甲状腺に対するもの） | ・同種心移植術 |
| ・一酸化窒素吸入療法 | ・経皮的大動脈遮断術 |
| ・皮膚悪性腫瘍切除術（悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。） | ・ダメージコントロール手術 |
| ・組織拡張器による再建術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合に限る。） | ・腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状切除によるもの） |
| ・腫瘍脊椎骨全摘術 | ・体外衝撃波胆石破砕術 |
| ・脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術 | ・腹腔鏡下肝切除術 |
| ・緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの）） | ・生体部分肝移植術 |
| ・網膜付着組織を含む硝子体切除術（眼内内視鏡を用いるもの） | ・同種死体肝移植術 |
| ・網膜再建術 | ・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術 |
| ・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器植込及び植込型骨導補聴器交換術 | ・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術 |
| ・内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅴ型（拡大副鼻腔手術） | ・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術 |
| ・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後） | ・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術 |
| ・乳がんセンチネルリンパ節加算1及び2 | ・腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの） |
| ・経皮的冠動脈形成術 | ・同種死体腎移植術 |
| ・経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの） | ・生体腎移植術 |
| ・経皮的冠動脈ステント留置術 | ・膀胱水圧拡張術 |
| ・経皮的大動脈弁置換術 | ・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 |
| ・経皮的中隔心筋焼灼術 | ・人工尿道括約筋植込・置換術 |

（様式第2）

# 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療料）

| 施設基準の種類 | 施設基準の種類 |
|---|---|
| ・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 | ・広範囲顎骨支持型装置埋入手術 |
| ・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。） | ・クラウン・ブリッジ維持管理料 |
| ・胎児胸腔・羊水腔シャント術 | ・歯科矯正診断料 |
| ・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6（歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。）に掲げる手術 | ・歯科口腔リハビリテーション料 2 |
| ・胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術 、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。） | ・CAD/CAM 冠 |
| ・輸血管理料Ⅰ | ・顎口腔機能診断料（顎変形症（顎離断等の手術を必要とするものに限る。）の手術前後における歯科矯正に係るもの） |
| ・胃瘻造設時嚥下機能評価加算 | ・ |
| ・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算 | ・ |
| ・内視鏡手術用支援機器加算 | ・ |
| ・麻酔管理料（Ⅰ）及び（Ⅱ） | ・ |
| ・放射線治療専任加算 | ・ |
| ・外来放射線治療加算 | ・ |
| ・高エネルギー放射線治療 | ・ |
| ・1回線量増加加算 | ・ |
| ・強度変調放射線治療（IMRT） | ・ |
| ・画像誘導放射線治療加算（IGRT） | ・ |
| ・体外照射呼吸性移動対策加算 | ・ |
| ・定位放射線治療 | ・ |
| ・定位放射線治療呼吸性移動対策加算 | ・ |
| ・病理診断管理加算2 | ・ |
| ・歯科画像診断管理加算1及び2 | ・ |
| ・う蝕歯無痛的窩洞形成加算 | ・ |
| ・歯科技工加算 | ・ |
| ・上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科診療に係るものに限る。） | ・ |
| ・歯周組織再生誘導手術 | ・ |
| ・手術時歯根面レーザー応用加算 | ・ |

（様式第2）

# 高度の医療の提供の実績

## 7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

| 施設基準等の種類 | 施設基準等の種類 |
|---|---|
| ・インプラント義歯 | ・ |
| ・腹腔鏡補助下膵体尾部切除又は核出術 | ・ |
| ・エキシマレーザー冠動脈形成術 | ・ |
| ・超音波骨折治療法 | ・ |
| ・先天性難聴の遺伝子診断 | ・ |
| ・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術 | ・ |
| ・経皮的骨形成術 | ・ |
| ・羊膜移植術（難治性眼疾患に対する） | ・ |
| ・腹腔鏡下スリーブ状胃切除術 | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |

（注）1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
（注）2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法（平成六年厚生省告示第五十四号）に先進医療（当該病院において提供していたものに限る。）から採り入れられた医療技術について記入すること。

## 8 病理・臨床検査部門の概要

| | |
|---|---|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況 | 1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。<br>2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 26件 |
| 剖検の状況 | 剖検症例数 91例 ／ 剖検率 31.59% |

(様式第3)

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額(万円) | 補助元又は委託元 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 膜内蛋白分解酵素により誘導されるTNFの新しい機能の解明と炎症性疾患制御への応用 | 塚本 浩 | 第一内科 | 182 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C) |
| 白血病幹細胞特異的抗原TIM-3に対する標的治療の開発. | 宮本 敏浩 | 第一内科 | 377 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B) |
| 慢性リンパ性白血病モデルマウスを応用した原因遺伝子の探索 | 宮本 敏浩 | 第一内科 | 117 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究) |
| GVHD/GVLに関わるメモリーT細胞分化のメカニズム | 加藤 光次 | 第一内科 | 156 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C) |
| 造血幹細胞移植における不妊メカニズム解明とそれに基づく卵巣保護法の開発 | 加藤 光次 | 第一内科 | 300 万円 | 補 | 公益財団法人 持田記念医学薬学振興財団 研究助成金 |
| 久山町高齢者におけるMRIを基盤にした脳血管障害、認知症、うつ病の疫学研究 | 清原 裕 | 第二内科 | 2470 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A) |
| 脂質メディエーター関連遺伝子のSNPと疾患 | 清原 裕 | 第二内科 | 2340 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金 新学術領域研究(研究領域提案型) |
| 「脂質マシナリー」領域研究の推進 | 清原 裕<br>(分担) | 第二内科 | 200 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金 (新学術領域研究(研究領域提案型)) |
| 多点観察による身体活動・運動量、体力と健康事象に関する運動疫学研究 | 清原 裕<br>(分担) | 第二内科 | 130 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A) |
| 一般地域住民を含む糖尿病患者データベース構築による前向きゲノムコホート研究 | 清原 裕<br>(分担) | 第二内科 | 20 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A) |
| 半導体シーケンサーによる口腔フローラの網羅的解析結果と健康との関連性の解明 | 清原 裕 | 第二内科 | 30 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B) |
| 組織修復による恒常性維持応答とその変容に基づく生活習慣病・がんの病態解明とその制御 | 清原 裕 | 第二内科 | 250 万円 | 補 | 独立行政法人科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 (CREST) |
| 大規模ゲノム疫学共同研究による認知症の危険因子および防御因子の解明 | 清原 裕 | 第二内科 | 5,400 万円 | 委 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 認知症対策総合研究 |
| 大規模コホート共同研究の発展による危険因子管理の優先順位の把握と個人リスク評価に関するエビデンスの構築 | 清原 裕 | 第二内科 | 215 万円 | 委 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究 |
| 身体活動・不活動量、運動量の実態とその変化が生活習慣病発症に及ぼす影響と運動介入支援の基盤構築に関する研究 | 清原 裕 | 第二内科 | 200 万円 | 委 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究 |
| 特定健診・保健指導におけるメタボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出に関する横断・縦断研究 | 清原 裕 | 第二内科 | 110 万円 | 委 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究 |
| 社会的要因を含む生活習慣病リスク要因の解明を目指した国民代表集団の大規模コホート研究:NIPPON DATA80/90/2010 | 清原 裕 | 第二内科 | 50 万円 | 委 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究 |
| 進行性腎障害に関する調査研究 | 清原 裕 | 第二内科 | 20 万円 | 委 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究) |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額（万円） | 補助元又は委託元 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 生活自立を指標とした、生活習慣病の検査値の基準値設定に関する研究 | 清原 裕 | 第二内科 | 110 万円 | 補 | 国立長寿医療研究センター 長寿医療研究開発費 |
| 久山町一般住民における生活習慣等の胃癌発症に及ぼす影響 | 池田 文恵 | 第二内科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 地域一般高齢者における日常生活動作（ADL）障害の時代的推移とその原因疾患の解明 | 吉田 大悟 | 第二内科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 一般住民における身体組成が心血管病発症および死亡に与える影響：久山町研究 | 岸本 裕歩 | 第二内科 | 117 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 久山町住民における遺伝・環境要因を考慮したインスリン分泌能の長期追跡 | 土井 康文 | 第二内科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 地域住民におけるHbA1cを用いた糖尿病の診断基準の検証に関する横断・追跡研究 | 向井 直子 | 第二内科 | 130 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 頸動脈の動脈硬化病変の進行と心血管病発症の予測因子としての家庭血圧の意義 | 福原 正代 | 第二内科 | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 日本の高齢一般住民における食事パターンと認知症発症との関係：久山町研究 | 小澤 未央 | 第二内科 | 30 万円 | 補 | 公益財団法人 長寿科学振興財団 長寿科学関連国際学会派遣事業 |
| 腎移植患者におけるPolyomavirusBK感染に関する前向き研究 | 升谷 耕介 | 第二内科 | 1950 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 膵神経内分泌腫瘍における腫瘍間質間相互作用を標的とした新規治療法の開発 | 伊藤 鉄英 | 第三内科 | 390 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| フォン・ヒッペルリンドウ病の病態調査と診断治療系確立の研究 | 伊藤 鉄英（分担） | 第三内科 | 15 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究（難治性疾患克服研究） |
| ミトコンドリアダイナミクスによる糖・脂質代謝調節機構の解明 | 野村 政壽 | 第三内科 | 110 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（特別研究員奨励費） |
| 肝ミトコンドリアダイナミクスとメタボリックシンドローム | 王 麗香 | 第三内科 | 100 万円 | 補 | 公益財団法人 万有生命科学振興国際交流財団 |
| 神経性食欲不振症の低栄養が脳機能・消化吸収能・代謝機能へ与える影響の客観的評価 | 河合 啓介 | 心療内科 | 130 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 情動的側面に着目した慢性疼痛の病態解明と診断・評価法の開発 | 細井 昌子（分担） | 心療内科 | 200 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 慢性の痛み対策研究 |
| 慢性の痛み診療の基盤となる情報の集約とより高度な診療の為の医療システム構築に関する研究 | 細井 昌子（分担） | 心療内科 | 150 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 慢性の痛み対策研究 |
| 痛みに関する教育と情報提供システムの構築に関する研究 | 細井 昌子（分担） | 心療内科 | 10 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 慢性の痛み対策研究 |
| 慢性疼痛における養育スタイルと生物心理社会的メカニズム | 河田 浩（代表） | 心療内科 | 130 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |

（様式第3）

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

### 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額（万円） | | 補助元又は委託元 |
|---|---|---|---|---|---|
| 長期飢餓ストレスが及ぼすエピジェネティック変化メカニズムの解明と臨床応用への展開 | 髙倉 修 | 心療内科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 脱髄性疾患・統合失調症における白質グリア障害の機構解明と画期的治療法の開発 | 吉良 潤一 | 神経内科 | 845 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（新学術領域研究（研究領域提案型）） |
| コネキシンサイトパチーによる脱髄性疾患の誘導機構の解明と新規分子標的療法の開発 | 吉良 潤一 | 神経内科 | 689 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B） |
| DJ-1欠失誘導性ミトコンドリア膜透過性遷移孔開口によるパーキンソン病新規モデル | 山口 浩雄 | 神経内科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援） |
| 中枢・末梢連合脱髄症の診断基準作成と臨床疫学調査の実施による治療指針の確立 | 吉良 潤一 | 神経内科 | 427.6 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究（難治性疾患克服研究） |
| アトピー関連脳脊髄・末梢神経障害の病態解明と画期的治療法の開発 | 吉良 潤一 | 神経内科 | 1,963.5 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 障害者対策総合研究 |
| 骨髄・臍帯間葉系細胞由来脳移行性シュワン細胞による脳梗塞の神経修復治療 | 松瀬 大 | 神経内科 | 375 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 障害者対策総合研究 |
| 難治性心不全を克服するバイオニック自律神経制御システムの基盤研究 | 砂川 賢二 | 循環器内科 | 4,264 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究S） |
| 心筋の構造リモデリングを直接鋭敏に反映する新たなバイオマーカーの開発 | 砂川 賢二 | 循環器内科 | 208 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(挑戦的萌芽研究） |
| 迷走神経刺激による心不全治療の最適化 | 砂川 賢二 | 循環器内科 | 5,692 万円 | 補 | 文部科学省　科学技術振興機構 |
| 革新的医療機器の有効性又は安全性評価方法確立のための調査研究 | 砂川 賢二 | 循環器内科 | 4,100 万円 | 補 | 厚生労働省（革新的医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業） |
| 非接触迷走神経磁気刺激システムによる劇的な急性心筋梗塞サイズ縮小、心不全予防による生命予後改善治療実用化研究 | 砂川 賢二 | 循環器内科 | 3,000 万円 | 補 | 文部科学省　科学技術振興機構 |
| 重症肺高血圧症の予後と生活の質を改善するための安心安全のナノ医療製剤（希少疾病用医薬品）の実用化臨床試験 | 江頭 健輔 | 循環器内科 | 16,000 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究（難治性疾患克服研究） |
| ナノDDSと脈波衝撃投与DDSカテーテルの融合による低侵襲かつ安全安心な血管内ナノ治療システムの実用化と臨床試験 | 江頭 健輔 | 循環器内科 | 3,000 万円 | 補 | 厚厚生労働科学研究費補助金 厚生科学基盤研究分野 医療機器開発推進研究 |
| 再灌流部位選択的ナノ薬物送達による虚血ー再灌流傷害に対する革新的ナノ医療の創製 | 江頭 健輔 | 循環器内科 | 530 万円 | 補 | 文部科学省　科学技術振興機構 |
| 虚血肢治療用低侵襲ナノ粒子製剤の実用化 | 江頭 健輔 | 循環器内科 | 6,100 万円 | 補 | 文部科学省　科学技術振興機構 |
| 急性心筋梗塞症治療用ナノ粒子製剤の実用化のための橋渡し研究 | 江頭 健輔 | 循環器内科 | 2,500 万円 | 補 | 文部科学省　科学技術振興機構 |
| 心不全発症・進展における交感神経活性化：新たな枠組みおよび制御機構の解明 | 廣岡 良隆 | 循環器内科 | 364 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B） |

(様式第3)

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額(万円) | 補助元又は委託元 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 肺高血圧から右心不全に至る新たな視点としての自律神経系の役割解明・制御機構の開発 | 廣岡 良隆 | 循環器内科 | 117 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究) |
| 心血管病の進展におけるマイクログリアの役割の解明と治療応用 | 市来 俊弘 | 循環器内科 | 182 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究) |
| マイクログリアにおける低酸素応答系が交感神経機能および心血管疾患の進展において果たす役割の解析 | 市来 俊弘 | 循環器内科 | 50 万円 | 補 | 公益財団法人 日本応用酵素協会 |
| ミトコンドリアDNAの抗リモデリング効果の機序解明と新たな治療方法の確立 | 井手 友美 | 循環器内科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C) |
| N－アセチルグルコサミン代謝によるマクロファージ機能制御と動脈硬化における役割 | 北本 史朗 | 循環器内科 | 208 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C) |
| 慢性心不全における交感神経活動活性化機序としての脳内アストロサイト異常解明 | 岸 拓弥 | 循環器内科 | 221 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C) |
| 脳内AT1受容体・アストロサイトを標的とする交感神経抑制を介した新たな動脈硬化治療 | 岸 拓弥 | 循環器内科 | 100 万円 | 補 | 公益財団法人 万有生命科学振興国際交流財団 |
| 心臓を中心とする循環動態動的恒常性維持システム不全としての慢性心不全解明～生命のセットポイントはどこなのか?～ | 岸 拓弥 | 循環器内科 | 100 万円 | 補 | 公益財団法人 生存科学研究所財団 |
| 難治性心不全を克服するバイオニック自律神経制御システム | 岸 拓弥 | 循環器内科 | 50 万円 | 補 | 公益財団法人 日本応用酵素協会 |
| 心不全における心→脳連関による脳内異常:食塩感受性と食塩嗜好性獲得の機序解明 | 伊藤 浩司 | 循環器内科 | 195 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C) |
| 心不全における新規交感神経活性化機構の解明～神経ステロイド減少と脳内シグマ受容体機能不全 | 伊藤 浩司 | 循環器内科 | 100 万円 | 補 | 公益財団法人 万有生命科学振興国際交流財団 |
| 心血管疾患におけるマイクロRNA発現評価と発現調節による新規治療の開発 | 得能 智武 | 循環器内科 | 208 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B) |
| 心血管疾患における低酸素応答系の役割 | 得能 智武 | 循環器内科 | 50 万円 | 補 | 公益財団法人 日本応用酵素協会 |
| 新しい肺高血圧症モデルを用いた骨髄由来内皮前駆細胞の病態学的役割の解明 | 阿部 弘太郎 | 循環器内科 | 208 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B) |
| 心臓交感神経シンチグラフィーを用いた肺高血圧症の新たな重症度および予後予測法の確立 | 阿部 弘太郎 | 循環器内科 | 200 万円 | 補 | 公益財団法人 武田科学振興財団 |
| トロンビン受容体を標的とした新たな肺高血圧治療ストラテジーの確立 | 阿部 弘太郎 | 循環器内科 | 50 万円 | 補 | 公益財団法人 日本応用酵素協会 |
| チロシンキナーゼ阻害剤による有効ながん治療の実用化に関する研究 | 中西 洋一 | 呼吸器科 | 2200 万円 | 委 | 文部科学省受託研究(次世代がん研究戦略推進プロジェクト) |
| エストロゲン関連遺伝子と喫煙との交互作用に関する肺がんのゲノム疫学研究 | 清原 千香子 | 呼吸器科 | 806 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B) |

(様式第3)

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額(万円) | | 補助元又は委託元 |
|---|---|---|---|---|---|
| B7-H1発現の薬物的制御によるCOPD・喘息の増悪の治療を目指す基盤研究 | 松元 幸一郎 | 呼吸器科 | 156 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C) |
| COPDに関する啓発と早期発見のための方策に関する研究 | 松元 幸一郎(分担) | 呼吸器科 | 100 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究 |
| 重症喘息を対象としたCTLA4-Ig(Abatacept、オレンシア(R))の適応拡大をめざした医師主導治験および非臨床研究 | 松元 幸一郎(分担) | 呼吸器科 | 200 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究) |
| 間質性肺炎肺線維症における細気管支と肺胞上皮間のクロストークの解明と制御 | 濱田 直樹 | 呼吸器科 | 104 万円 | 補 | 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) |
| 子宮体癌幹細胞を標的にした新規治療法の開発 | 加藤 聖子 | 産科婦人科 | 364 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B) |
| 子宮体癌幹細胞形質獲得機構の解明と幹細胞マーカーの同定 | 加藤 聖子 | 産科婦人科 | 117 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究) |
| 卵巣癌腹膜播種に対するTatペプチドをベクターとしたカルポニンh1遺伝子治療 | 小林 裕明 | 産科婦人科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C) |
| RCAS1をターゲットとした新たながん治療戦略の構築 | 園田 顕三 | 産科婦人科 | 156 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C) |
| 酸化ストレスの視点から見た胎盤機能不全における絨毛細胞機能障害機構の解明 | 福嶋 恒太郎 | 産科婦人科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C) |
| マウス胎盤形成に関わる核マトリックス関連蛋白Satbの解析 | 淺野間 和夫 | 産科婦人科 | 117 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C) |
| 胞状奇胎後続発症のリスク因子と、臨床上有用な続発症予測マーカーの同定 | 兼城 英輔 | 産科婦人科 | 117 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B) |
| 婦人科悪性腫瘍の転移を制御するシグナル伝達経路の解析 | 八木 裕史 | 産科婦人科 | 234 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B) |
| 原発性免疫不全症における遺伝子変異の修復による自己細胞再生療法の開発 | 原 寿郎 | 小児科 | 871 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A) |
| 胎児子宮内発育遅延の新しい病因としての自然免疫受容体NOD1リガンドの解析 | 原 寿郎 | 小児科 | 182 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究) |
| 原発性免疫不全症候群に関する調査研究 | 原 寿郎 | 小児科 | 3,669.3 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究) |
| 小児・新生児期における遺伝性血栓症(プロテインC異常症を含む)の効果的診断と治療予防法の確立に関する研究 | 大賀 正一 | 小児科 | 555.8 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究(難治性疾患克服研究) |
| 血球貪食症候群における包括的治療法確立に関する研究 | 大賀 正一 | 小児科 | 182 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C) |
| プロテオミクスによるウイルス関連脳症の病態特異的バイオマーカーの探索 | 鳥巣 浩幸 | 小児科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C) |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額（万円） | 補助元又は委託元 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 小児期のホルモンと免疫系細胞・脂肪細胞の分化増殖ネットワークの解明 | 井原　健二 | 小児科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| CARD15の炎症性疾患における病態形成機序に関する研究 | 高田　英俊 | 小児科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| CINCA症候群における動脈硬化の生理学的・生化学的バイオマーカーによる解析 | 山村　健一郎 | 小児科 | 234 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 川崎病類似冠動脈炎マウスモデルの遺伝子発現に基づいた新たな川崎病治療戦略の検討 | 永田　弾 | 小児科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 小児がん患者における輸血後鉄過剰症に対する鉄キレート療法の有用性 | 古賀　友紀 | 小児科 | 117 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 川崎病類似Nod1リガンド誘発冠動脈炎におけるオートファジー機構の解析 | 西尾　壽乘 | 小児科 | 195 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 血管内皮前駆細胞を用いたモヤモヤ病の病態解析ならびに遺伝的因子の解明 | 石崎　義人 | 小児科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 母児免疫性血小板減少症および早発黄疸の予測因子の検索 | 落合　正行 | 小児科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 小児期粘膜免疫システム構築のメカニズムの解明と疾患関連腸内細菌の同定 | 瀧本　智仁 | 小児科 | 208 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 気管支肺異形成での炎症細胞産生NGALとの関連解析 | 市山　正子 | 小児科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| X連鎖性劣性遺伝性疾患女性患者由来iPS細胞を用いたX染色体不活化機構の解析 | 今井　崇史 | 小児科 | 247 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 壊死性リンパ節炎の非侵襲的早期診断法の開発 | 石村　匡崇 | 小児科 | 234 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 精神遅滞関連タンパク質複合体による生後脳発達の制御メカニズムに関する研究 | 酒井　康成 | 小児科 | 91 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究） |
| わが国初の小児ホジキンリンパ腫における予後予測因子同定および病態解析 | 大場　詩子 | 小児科 | 78 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 川崎病類似冠動脈炎モデルマウスを用いた川崎病罹患後の動脈硬化のメカニズム解析 | 田中　珠美 | 小児科 | 208 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 子宮内発育遅延児の成長ホルモン治療による代謝・免疫学的応答と遺伝学的背景の解析 | 石井　加奈子 | 小児科 | 117 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 膵癌浸潤を先導するリーディングセルの解明：第3の浸潤機構に基づく癌治療の新展開 | 田中 雅夫 | 第一外科 | 572 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B） |
| 膵癌微小環境のリモデリングによる膵癌治療抵抗性への新規戦略 | 田中 雅夫 | 第一外科 | 182 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究） |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額（万円） | 補助元又は委託元 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 難治性膵疾患に関する調査研究 | 田中 雅夫（分担） | 第一外科 | 80 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究（難治性疾患克服研究） |
| 世界をリードする国際人育成のための遠隔医療教育用データベースのシステム開発 | 清水 周次（分担） | 第一外科 | 50 万円 | 補 | 公益財団法人　臨床研究奨励基金 |
| 膵癌のdesmoplasia形成責任間質細胞の同定とその起源解明及びその機能制御 | 水元 一博 | 第一外科 | 572 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B） |
| 膵癌carcinogenesisにおける間質ニッチの関与の検討とその制御法の確立 | 水元 一博 | 第一外科 | 182 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究） |
| オートファジー制御に基づく癌微小環境因子解明と新規DDSを用いた難治癌治療開発 | 永井 英司 | 第一外科 | 637 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B） |
| オートファジー誘導性癌細胞基質クリアランス機能に注目した新規治療法の開発 | 永井 英司 | 第一外科 | 195 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究） |
| 癌間質相互作用を制御する膵星細胞関連miRNAの同定とその制御機構の解明 | 冨永 洋平 | 第一外科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| エクソソームを介した細胞外miRNA分泌に注目した癌間質相互作用研究の新展 | 当間 宏樹 | 第一外科 | 182 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 癌の悪性度に関わる特定膵星細胞の同定 | 難波江 俊永 | 第一外科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 膵癌微小環境を構築する星細胞のphenotypingとその制御による新規治療開発 | 上田 純二 | 第一外科 | 182 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 全ての臓器と組織移植症例の一元的な登録と追跡制度の確立ならびにドナーとレシピエントの安全性確保とQOL向上に関する研究 | 北田 秀久（分担） | 第一外科 | 20 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究（免疫アレルギー疾患等予防・治療研究） |
| IPMN併存膵癌の分子生物学解析に基づく膵癌早期診断法の開発 | 大塚 隆生 | 第一外科 | 637 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 両刃の剣GLP-1の膵癌治療への応用 | 大塚 隆生 | 第一外科 | 195 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(挑戦的萌芽研究) |
| 新規Treg細胞マーカー（VEGFR2）を標的としたTreg細胞制御療法の開発 | 大西 秀哉 | 第一外科 | 117 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 周皮細胞による腫瘍血管ネットワークのリモデリングに着目した新規膵癌治療戦略 | 真鍋 達也 | 第一外科 | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 癌間質のnormalizationによる薬剤送達改善と新規膵癌治療への応用 | 大内田 研宙 | 第一外科 | 377 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究） |
| 癌間質ニッチに存在する膵癌浸潤/転移責任間質細胞同定とその制御による新規治療開発 | 大内田 研宙 | 第一外科 | 624 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B） |
| 次世代インテリジェント型ナノカプセルによる診断・治療システム | 大内田 研宙（分担） | 第一外科 | 50 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 厚生科学基盤研究分野 創薬基盤推進研究 |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額（万円） | 補助元又は委託元 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 乳癌遠隔転移における間様系幹細胞（MSC）の役割の解明とその臨床的意義の検討 | 白羽根 健吾 | 第一外科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 膵癌間質細胞の表現型に基づく治療抵抗性機序解明と抗間質薬内包ナノカプセルの開発 | 前山 良 | 第一外科 | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 膵星細胞を介したマトリックス・リモデリングによる膵癌治療の新展開 | 宮坂 義浩 | 第一外科 | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 新規ウイルス改変による治療耐性克服と膵癌治療への応用 | 江上 拓哉 | 第一外科 | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 分子生物学的解析に基づく膵癌間質制御の新展開 | 藤田 逸人 | 第一外科 | 234 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 膵癌腹膜播種を誘導する特異的間質細胞の同定および膵癌新規治療法の開発 | 森山 大樹 | 第一外科 | 195 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 膵癌微小環境に基づく放射線抵抗機序解明と新規人工ウイルスによる責任間質細胞の制御 | 鬼丸 学 | 第一外科 | 221 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| エストロゲンレセプター／ヘッジホッグ両シグナル経路を標的とした包括的乳癌治療 | 田中 晴生 | 第一外科 | 104 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| オートファジーによる癌幹細胞静止期維持機構の解明及び人工ウイルス治療法の開発 | 仲田 興平 | 第一外科 | 897 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究A） |
| 膵癌癌間質相互作用におけるオートファジーの役割 | 仲田 興平 | 第一外科 | 195 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究） |
| 膵臓星細胞活性化におけるオートファジーの役割 | 仲田 興平 | 第一外科 | 277 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 第3次対がん総合戦略研究 |
| マイクロRNAを用いた新規腫瘍マーカーの開発 | 仲田 興平 | 第一外科 | 300 万円 | 補 | 財団法人日本消化器病学会 |
| 膵癌早期診断に有用なMRI造影剤内包ナノ粒子の開発 | 坂井 寛 | 第一外科 | 182 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 膵癌微小環境に着目したウイルス治療の新展開－間質におけるウイルス拡散と導入効率－ | 安井 隆晴 | 第一外科 | 221 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| Notch4を標的としたホルモンレセプター陰性、HER2陰性乳癌の治療法開発 | 久保 真 | 第一外科 | 247 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 難治性悪性中皮腫へ臨床応用可能な分子メス：「バイオナイフ」の研究開発 | 前原 喜彦 | 第二外科 | 663 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究A） |
| がん幹細胞のGenetic instabilityに着目した新しい癌治療の構築 | 前原 喜彦 | 第二外科 | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究） |
| 肝癌の微小環境における炎症の機序解明とPD-1シグナル制御による革新的治療の開発 | 調 憲 | 第二外科 | 351 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B） |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額（万円） | 補助元又は委託元 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 癌進展及び創傷治癒における脾臓由来マクロファージを用いた革新的治療法の開発 | 調 憲 | 第二外科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究） |
| 大腸癌における炎症性メディエーターとメチル化異常に着目した新しい治療法の確立 | 沖 英次 | 第二外科 | 234 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 病的肝の再生過程におけるオートファジーの分子機序解明 | 吉住 朋晴 | 第二外科 | 208 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 喫煙・飲酒による食道癌発癌における癌抑制遺伝子異常の機序解明と治療戦略の構築 | 森田 勝 | 第二外科 | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| ホルモン受容体陽性乳癌におけるホルモン感受性の分子機序の解明と個別化治療への応用 | 徳永 えり子 | 第二外科 | 104 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 難治性消化管癌の染色体ダイナミクス解析と革新的治療法の開発 | 佐伯 浩司 | 第二外科 | 221 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 動脈硬化巣における老化制御遺伝子BubR1の役割とその分子機序の解明 | 松本 拓也 | 第二外科 | 247 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| ヒトiPS細胞由来肝細胞株の樹立による革新的なハイブリッド型人工肝臓の開発 | 山下 洋市 | 第二外科 | 247 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 肺癌における染色体不安定性の解明と治療抵抗性克服への展開 | 岡本 龍郎 | 第二外科 | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 肝移植後の肝癌再発進展における腫瘍関連マクロファージの役割と分子機序の解明 | 池上 徹 | 第二外科 | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 肝脾相関のメカニズムの解明と脾機能制御による肝硬変症に対する革新的治療法の開発 | 川中 博文 | 第二外科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援） |
| 消化器癌におけるlincRNAの網羅的発現解析ならびに機能解析 | 日吉 幸晴 | 第二外科 | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 悪性胸膜中皮腫の微小環境の特性を標的とした新規治療法の開発 | 諸富 洋介 | 第二外科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| トリプルネガティブ乳癌における上皮間葉系移行の分子機序解明と臨床応用 | 山下 奈真 | 第二外科 | 195 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| アディポネクチンによる静脈グラフト内膜肥厚抑制効果の検討 | 森崎 浩一 | 第二外科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援） |
| 高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究 | 岩本 幸英 | 整形外科 | 1,680 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 がん臨床研究 |
| 特発性大腿骨頭壊死症の病因遺伝子解析と予防法開発への応用 | 岩本 幸英（代表） | 整形外科 | 8,000 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 健康長寿社会実現のためのライフ・イノベーションプロジェクト 難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究（難病関係研究分野） |
| 特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究 | 岩本 幸英（代表） | 整形外科 | 5,850 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究（難治性疾患克服研究） |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額（万円） | | 補助元又は委託元 |
|---|---|---|---|---|---|
| 悪性骨軟部腫瘍における薬剤耐性獲得機構の解明 | 岩本 幸英 | 整形外科 | 858 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B） |
| 臼蓋後捻は変形性股関節症の発生要因になりうる ー形態学的および生体力学的検討ー | 中島 康晴 | 整形外科 | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 骨粗鬆症性軟骨下脆弱性骨折による関節破壊のメカニズムの解析 | 山本 卓明 | 整形外科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 関節軟骨変性過程において鍵となる遺伝子発現制御因子の探索 | 岡﨑 賢 | 整形外科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 骨・関節表現型におよぼすMMP2変異の影響の解明 | 福士 純一 | 整形外科 | 65 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 軟骨肉腫幹細胞に注目した、新規軟骨肉腫治療法の開発 | 松本 嘉寛 | 整形外科 | 104 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 骨・関節発生および骨代謝におけるTGFベータⅠ型受容体の役割の解析 | 松延 知哉 | 整形外科 | 104 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 大腿骨頭壊死症における骨頭圧潰メカニズムの解明 | 本村 悟朗 | 整形外科 | 195 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 骨形成能をもった未熟細胞に着目した骨損傷治癒のメカニズムに関する研究 | 大石 正信 | 整形外科 | 130 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤SAHAのオートファジー細胞死誘導機構の解析 | 岡田 貴充 | 整形外科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 人工膝関節置換術術後動態解析のコンピュータシミュレーションによる実現化 | 水内 秀城 | 整形外科 | 260 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 関節軟骨変性過程におけるC/EBPbetaを中心とした遺伝子発現解析 | 林田 光正 | 整形外科 | 104 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| X線動画像とCT、CADモデルを用いた股関節の三次元動態解析 | 濱井 敏 | 整形外科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 悪性末梢神経鞘腫瘍の高悪性化機序の解明を基盤とした新規薬物治療の開発 | 遠藤 誠 | 整形外科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援） |
| 関節リウマチ病態におけるC型レクチンの役割 | 小山田 亜希子 | 整形外科 | 130 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| DPC情報を用いた脳卒中大規模データベースによるベンチマーキングに関する研究 | 飯原 弘二 | 脳神経外科 | 663 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B） |
| 腫瘍幹細胞由来エクソソーム解析による脳腫瘍形成機序解明と新規診断・治療法の開発 | 溝口 昌弘 | 脳神経外科 | 767 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B） |
| 分泌型microRNAによる脳血管攣縮機構の解明と新規バイオマーカーの同定 | 溝口 昌弘 | 脳神経外科 | 182 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究） |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額（万円） | 補助元又は委託元 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 膠芽腫組織におけるDNA損傷応答のダイナミックス一新たな治療法の確立にむけて一 | 吉本 幸司 | 脳神経外科 | 182 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(挑戦的萌芽研究) |
| 間葉系幹細胞によるマクロファージ機能抑制機構の解明と新たな脳動脈瘤治療法の開発 | 中溝 玲 | 脳神経外科 | 182 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(挑戦的萌芽研究) |
| 網羅的遺伝子発現解析による脳血管攣縮発症メカニズムの解明とバイオマーカーの探索 | 吉川 雄一郎 | 脳神経外科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(若手研究B) |
| 脳卒中急性期医療の地域格差の可視化と縮小に関する研究 | 飯原 弘二 | 脳神経外科 | 550 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究 |
| 脳血管疾患に係るハイリスク者を抽出する循環器先制医療技術開発に関する研究 | 飯原 弘二 | 脳神経外科 | 13 万円 | 委 | 国立循環器病研究センター受託研究費 |
| ウサギの脊髄局所冷却による脊髄保護効果と小胞体ストレス反応の関係についての検討 | 中島 淳博 | 心臓血管外科 | 117 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(基盤研究C) |
| 虚血性心筋症に対する末梢血単核球移植による治療法の開発 | 西田 誉浩 | 心臓血管外科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(基盤研究C) |
| ウサギの脊髄局所冷却による脊髄保護効果とオートファジーの関連 | 藤田 智 | 心臓血管外科 | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(若手研究B) |
| 日本人の人工弁置換術後における抗血小板療法の有効性および安全性に関する臨床研究 | 富永 隆治<br>（分担） | 心臓血管外科 | 195 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(基盤研究C) |
| WHOのチェックリストを用いた日本版「手術安全簡易評価システム」の開発と適応に関する研究 | 富永 隆治<br>（分担） | 心臓血管外科 | 520 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 健康安全確保総合研究 地域医療基盤開発推進研究 |
| ヒルシュスプルング病および類縁疾患の乳歯歯髄幹細胞を用いた新規治療法の開発 | 田口 智章 | 小児外科・生育外科・小腸移植外科 | 208 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(挑戦的萌芽研究) |
| 小児外科領域の難治性疾患における脱落乳歯幹細胞を用いた新規治療法の開発 | 田口 智章 | 小児外科・生育外科・小腸移植外科 | 2067 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(基盤研究A) |
| 手術器具による視野遮蔽領域を補完する”死角なき”小児外科手術ロボットの開発 | 家入 里志 | 小児外科・生育外科・小腸移植外科 | 819 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(基盤研究B) |
| キメリズム解析による胆道閉鎖症成因の解明 | 林田 真 | 小児外科・生育外科・小腸移植外科 | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(基盤研究C) |
| 自家間系幹細胞を用いた先天性横隔膜ヘルニアの低形成肺に対する再生医療 | 永田 公二 | 小児外科・生育外科・小腸移植外科 | 110 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(若手研究B) |
| MYCNトランスジェニックマウスを用いた神経芽腫新規分子標的治療の開発 | 宗崎 良太 | 小児外科・生育外科・小腸移植外科 | 150 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(基盤研究C) |
| 先天性肝疾患に対する乳歯歯髄幹細胞を用いた肝立体構造体による新規治療法の開発 | 柳 佑典 | 小児外科・生育外科・小腸移植外科 | 182 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(基盤研究C) |
| 進行神経芽腫モデルマウスを用いたSeV/DCによる新規免疫治療の開発 | 川久 保尚徳 | 小児外科・生育外科・小腸移植外科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金 (研究活動スタート支援) |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額（万円） | 補助元又は委託元 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査とシームレスなガイドライン作成 | 田口 智章 | 小児外科・生育外科・小腸移植外科 | 5,985 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究（難治性疾患克服研究） |
| 食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究 | 古江 増隆 | 皮膚科 | 20,670.1 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 健康安全確保総合研究 食品の安全確保推進研究 |
| アトピー性皮膚炎の発症・症状の制御および治療法の確立普及に関する研究 | 古江 増隆 | 皮膚科 | 1952 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患等克服研究（免疫アレルギー疾患等予防・治療研究） |
| マウス悪性黒色腫発育早期の腫瘍浸潤樹状細胞の解析 －経時的変化とその意義－ | 中原 剛士 | 皮膚科 | 104 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| エンドセリン変換酵素の掻痒に対する作用とそのメカニズムの解明 | 中原 真希子 | 皮膚科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 表皮におけるAhRの新規標的遺伝子の探索および皮膚病態との関連性の解明 | 古賀 沙緒里 | 皮膚科 | 208 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 腎・尿路性器癌の進展におけるストレス応答機構を標的とした治療法の開発 | 内藤 誠二 | 泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 | 195 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 前立腺癌化学予防薬がアンドロゲンシグナルに及ぼす分子薬理学的機序の解析 | 横溝 晃 | 泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 | 182 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 腎癌の癌化、増殖、浸潤におけるグリシンエヌメチルトランスフェラーゼの重要な役割 | 宋 裕賢 | 泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 | 78 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| アンドロゲン受容体シグナルと酸化ストレスのクロストーク | 塩田 真己 | 泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 | 195 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援） |
| 低活動膀胱の画期的治療法の基盤的研究－トロポニンシステムの構築を中心として－ | 梶岡 俊一 | 泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 | 104 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 口腔癌患者の術後せん妄の発症予測に関する生物学的指標の探索 | 光安 博志 | 精神科神経科 | 110 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 自我障害は統合失調書に特異的か？－自我障害の神経基盤研究 | 鬼塚 俊明 | 精神科神経科 | 110 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 溜め込み障害と強迫性障害の臨床的および生物学的差異の検討 | 中尾 智弘 | 精神科神経科 | 120 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 気分障害患者における認知機能障害の生物学的基盤に関する研究 | 三浦 智史 | 精神科神経科 | 50 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 地域高齢住民におけるうつ病の実態とその危険因子の解明に関する横断・縦断研究 | 小原 知之 | 精神科神経科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| うつ病の責任脳回路の系統的同定とニューロン・グリア傷害の実像解明 | 神庭 重信 | 精神科神経科 | 637 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B） |
| Working memoryと神経画像解析による強迫性障害の病態研究 | 村山 桂太郎 | 精神科神経科 | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額（万円） | | 補助元又は委託元 |
|---|---|---|---|---|---|
| レクチンタンパクは精神疾患の病態メカニズムに関与するか？ | 梶谷 康介 | 精神科神経科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 神経生理学検査による神経疾患の科学的診断及び治療方法の確立 | 土本 利佳子 | 精神科神経科 | 247 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| ペリニューロナルネットが関与する顎顔面領域の神経障害性疼痛病態機構の解明 | 関 義弘 | 精神科神経科 | 130 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 統合失調症患者における感覚ゲーティング異常の詳細検討－脳磁図研究－ | 平野 昭吾 | 精神科神経科 | 273 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| うつ病の病態を反映する血中バイオマーカーの開発・実用化研究 | 神庭 重信 | 精神科神経科 | 3,730.8 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 健康長寿社会実現のためのライフ・イノベーションプロジェクト 難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究（精神疾患関係研究分野） |
| 大規模ゲノム免疫学共同研究による認知症の危険因子および防御因子の解明 | 小原 知之 | 精神科神経科 | 150 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 認知症対策総合研究 |
| 統合失調症におけるミクログリア制御異常による白質・シナプス伝達障害の機構解明 | 神庭 重信 | 精神科神経科 | 1014 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（新学術領域研究(研究領域提案型)) |
| 網膜色素変性に対する視細胞保護遺伝子治療臨床研究～GCPに準拠した遺伝子治療臨床研究～ | 石橋 達朗 | 眼科 | 3,900 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 厚生科学基盤研究分野 医療技術実用化総合研究（臨床研究推進研究） |
| 新規ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ技術を用いた眼疾患に対する革新的核酸医薬品の開発 | 石橋 達朗 | 眼科 | 2080 万円 | 委 | 独立行政法人科学技術振興機構（A-STEP) |
| ﾌﾞﾘﾘｱﾝﾄﾌﾞﾙｰG（BBG250）による内境界膜染色・剥離術 | 石橋 達朗 | 眼科 | 4083 万円 | 補 | 日本医師会 治験促進センター |
| 個別化医療をめざした加齢黄斑変性に対するゲノム疫学研究 | 石橋 達朗 | 眼科 | 1220 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究A） |
| マクロファージ分化による脈絡膜血管新生病の病態制御機構 | 武田 篤信 | 眼科 | 754 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究A） |
| 網脈絡膜疾患に対するリンパ管をターゲットとした新しい治療戦略 | 中尾 新太郎 | 眼科 | 663 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究A） |
| 成人先天性心疾患のシネタギングMRIによる右室ストレインと心臓同期不全解析の開発 | 長尾 充展 | 放射線科 | 221 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 根治的放射線治療後再発食道癌に対する高精度放射線治療技術を用いた臨床試験 | 佐々木 智成 | 放射線科 | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| ヨード123全身シンチグラムを用いたヨード治療適応評価の有用性に関する研究 | 馬場 眞吾 | 放射線科 | 195 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| アルツハイマー病早期診断と治療モニタリングのための高感度MR分子画像法の開発 | 栂尾 理 | 放射線科 | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(挑戦的萌芽研究 |
| 新たな磁気共鳴撮像法を用いた定量的な関節軟骨障害の早期検出・重症度評価法の開発 | 高山 幸久 | 放射線科 | 78 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額（万円） | 補助元又は委託元 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 高磁場MRIを用いた微小再発真珠腫の検出法および術前診断支援システムの開発 | 山下 孝二 | 放射線科 | 91 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| Gd－EOB－DTPA造影MRIを用いた肝細胞癌の抗癌剤耐性の画像的評価法の確立 | 藤田 展宏 | 放射線科 | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 肺機能画像を用いた肺癌定位放射線治療後の新しい残存肺機能予測法の確立に関する研究 | 浅井 佳央里 | 放射線科 | 104 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| ASL法を用いた非造影MR灌流画像による移植腎の血流評価と臨床応用 | 西牟田 雄祐 | 放射線科 | 195 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| MRI所見による新たな食道癌治療効果判定法の確立 | 平賀 聖久 | 放射線科 | 130 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 機能画像を用いた低リスク肺癌高精度放射線治療の最適化に関する研究 | 塩山 善之 | 放射線科 | 91 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 医療機器の添付文書の在り方に関する研究 | 外 須美夫 | 麻酔科蘇生科 | 699 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 健康安全確保総合研究 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究 |
| 神経障害性疼痛に対する和温療法の効果に関する研究 | 外 須美夫 | 麻酔科蘇生科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 生体肝移植術における凝固・線溶系の変化についての検討 | 外 須美夫 | 麻酔科蘇生科 | 190 万円 | 補 | 公益財団法人　臨床研究奨励基金 |
| ケタミンの急性痛、慢性痛に対する異なる鎮痛作用機序の検討 | 山浦　健 | 麻酔科蘇生科 | 442 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 肝炎ウイルス検査体制の整備と普及啓発に関する研究事業 | 古庄　憲浩 | 総合診療科 | 150 万円 | 委 | 厚生労働省・科学研究費補助金　肝炎等克服緊急対策研究事業 |
| 生検サンプルを必要としない血液を用いたミトコンドリア異常症の統合的検査法開発 | 康 東天 | 検査部 | 1,768 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(基盤研究A) |
| アルツハイマー病とミトコンドリアDNA多型の大規模解析 | 康 東天 | 検査部 | 117 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(挑戦的萌芽研究) |
| 電子的医療情報の利活用に必要な標準化の整備と普及に関する研究 | 康 東天<br>（分担） | 検査部 | 80 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金　・地域医療基盤開発推進研究事業 |
| ミトコンドリアRNAシャペロンp32の分子基盤 | 内海 健 | 検査部 | 170 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| ミトコンドリア病遺伝子診断キットの開発を目的とした網羅的病因遺伝子検索法の開発 | 松島 雄一 | 検査部 | 195 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(挑戦的萌芽研究) |
| 自然免疫におけるミトコンドリアの翻訳を制御するp32遺伝子の役割の解明 | 後藤 和人 | 検査部 | 143 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援） |
| HABP1の機能解析と神経変性疾患診断への応用 | 松本 信也 | 検査部 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額（万円） | 補助元又は委託元 | |
|---|---|---|---|---|---|
| マイトファジー誘導機序の解明とその臨床検査への応用 | 青木 義政 | 検査部 | 100 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 吸入麻酔薬による脳梗塞予後改善と機序の解明。免疫抑制は関与するか？ | 秋吉 浩三郎 | 手術部 | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 拡張現実感技術を用いた新しい放射線治療のセットアップ手法の開発 | 中村 和正 | 放射線部 | 442 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B） |
| サイバーナイフ治療におけるマシンビジョンシステムを用いた位置認識システムの開発 | 中村 和正 | 放射線部 | 91 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究） |
| ヨード123全身シンチグラムを用いたヨード治療適応評価の有用性に関する研究 | 馬場 眞吾 | 放射線部 | 195 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 転座関連および非転座関連悪性軟部腫瘍における分子標的の網羅的探索 | 小田 義直 | 病理診断科・病理部 | 890 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B） |
| 胃腸管間質腫瘍における低酸素応答関連分子異常の臨床病理学的意義に関する研究 | 山元 英崇 | 病理診断科・病理部 | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| SMARCB1／INI1蛋白陰性悪性腫瘍の再分類と治療への応用 | 孝橋 賢一 | 病理診断科・病理部 | 195 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 骨髄異形成症候群幹細胞の同定による新規分子標的の探索 | 竹中 克斗 | 遺伝子・細胞療法部 | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| BCR-ABL陽性白血病に対する新たな治療標的分子の同定 | 岩﨑 浩己 | 遺伝子・細胞療法部 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 慢性骨髄増殖性疾患における腫瘍性幹細胞の同定および治療法の樹立 | 菊繁 吉謙 | 遺伝子・細胞療法部 | 110 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（特別研究員奨励費） |
| 高齢者向けロコモ対策用ゲームの開発を通したゲームデザイン研究 | 高杉 紳一郎（分担） | リハビリテーション部 | 1391 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究A） |
| 全身協調動作を誘発する福祉支援ロボットの制御手法の開発 | 高杉 紳一郎（分担） | リハビリテーション部 | 738 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究A） |
| 学術用高速インターネットを利用した遠隔医療ネットワークの世界展開 | 清水 周次 | 光学医療診療部 | 819 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究A） |
| 橋渡し研究加速ネットワークプログラム「創造的次世代医療実現化を担うAROの構築」 | 中西 洋一（代表） | ARO次世代医療センター | 27,899 万円 | 補 | 文部科学省 平成25年度研究開発施設共用等促進費補助金（橋渡し研究支援） |
| 臨床研究中核病院整備事業「次世代に最新最適医療と希望を伝えるAROの構築」 | 中西 洋一（代表） | ARO次世代医療センター | 39,000 万円 | 補 | 厚生労働省 平成25年度臨床研究中核病院整備事業補助金 |
| 標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発 | 中西 洋一（代表） | ARO次世代医療センター | 9,000 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 健康長寿社会実現のためのライフ・イノベーションプロジェクト 難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究（国際水準臨床研究分野） |
| 進行非小細胞肺癌における癌関連遺伝子の網羅的解析による治療標的分子探索研究 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | 143 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額（万円） | | 補助元又は委託元 |
|---|---|---|---|---|---|
| 非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペメトレキセドを用いた術後補助化学療法 | 岡本 勇（分担） | ARO次世代医療センター | 80 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 厚生科学基盤研究分野 医療技術実用化総合研究事業（臨床研究・治験推進研究事業） |
| 抗悪性腫瘍薬の新規臨床薬理研究手法の開発に関する研究 | 岡本 勇（分担） | ARO次世代医療センター | 25 万円 | 委 | 国立がん研究センター |
| MET遺伝子増幅胃癌におけるMETチロシンキナーゼ阻害剤の抗腫瘍効果の解析 | 岡本 勇（分担） | ARO次世代医療センター | 10 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| EGFRチロシンキナーゼ阻害剤によるアポトーシスにおけるサバイビンの役割 | 岡本 勇（分担） | ARO次世代医療センター | 10 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| iPS細胞を活用した血液・免疫系難病に対する革新的治療の開発 | 谷 憲三朗 | 先端分子・細胞治療科 | 3,712 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 健康長寿社会実現のためのライフ・イノベーションプロジェクト 難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究（再生医療関係研究分野） |
| 癌幹細胞を制御する転写因子を標的とした難治性乳癌治療法の開発 | 谷 憲三朗（分担） | 先端分子・細胞治療科 | 300 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 健康長寿社会実現のためのライフ・イノベーションプロジェクト 難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究（がん関係研究分野） |
| 癌に対する新たなコンドロイチン硫酸ポリマー修飾腫瘍溶解性麻疹ウイルス療法開発のための前臨床研究 | 谷 憲三朗 | 先端分子・細胞治療科 | 2,800 万円 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 厚生科学基盤研究分野 創薬基盤推進研究（政策創薬探索研究） |
| コクサッキーウイルスB群3型を用いた悪性腫瘍に対する斬新な腫瘍溶解療法の臨床開発 | 谷 憲三朗 | 先端分子・細胞治療科 | 1,144 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(基盤研究A) |
| iPS細胞等自動培養装置開発加速事業 | 谷 憲三朗 | 先端分子・細胞治療科 | 4,650 万円 | 補 | （経済産業省）競争的資金 |
| 重症遺伝性赤血球異常症の治療モデルとしてのPK異常症への遺伝子治療法の検討 | 鶴田 敏久 | 先端分子・細胞治療科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援） |
| 分子標的を用いた癌早期診断と癌予防 | 高橋 淳 | 先端分子・細胞治療科 | 234 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 進行固形腫瘍患者に対する化学療法併用新規免疫細胞治療法の検討 | 土方 康基 | 先端分子・細胞治療科 | 78 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| ゲノムワイドRNA干渉スクリーニング法による腫瘍溶解RNAウイルス増殖機構の解明 | 井上 博之 | 先端分子・細胞治療科 | 208 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 新規脳腫瘍マウスモデルを用いた膠芽腫発生機構の解明 | 丸本 朋稔 | 先端分子・細胞治療科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 弱毒化麻疹ウイルスの特性を利用した癌幹細胞を標的とする難治性乳癌治療法の開発 | 松村 友美子 | 先端分子・細胞治療科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 新規気相式核酸分解・滅菌装置の効能および安全性評価 | 岡崎 利彦 | 先端分子・細胞治療科 | 299 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 遺伝子改変コクサッキーウイルスB群3型を用いた新規腫瘍溶解性ウイルス療法の開発 | 宮本 将平 | 先端分子・細胞治療科 | 120 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（特別研究員奨励費） |
| 移植肝障害のバイオメーカー創製 | 増田 智先 | 薬剤部 | 2017 万円 | 補 | 日本学術振興会最先端次世代研究開発支援プログラム |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額（万円） | 補助元又は委託元 | |
|---|---|---|---|---|---|
| うつおよび糖尿病を考慮したがん治療における疼痛制御に関する薬理学的研究 | 江頭 伸昭 | 薬剤部 | 299 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(基盤研究C) |
| 薬剤性腎障害発現における腎細胞分子機構の解明と腎保護薬に関する薬理学的研究 | 矢野 貴久 | 薬剤部 | 91 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(若手研究B) |
| オキサリプラチンによる末梢神経障害性疼痛の新規治療ターゲットの探索 | 川尻 雄大 | 薬剤部 | 234 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(若手研究B) |
| ICU病棟におけるプレアボイドデータを用いた薬学的介入の評価 | 尾川 理恵 | 薬剤部 | 40 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(奨励研究) |
| 注射抗がん剤の液性および投与濃度管理による静脈炎回避に関する研究 | 山内 結衣 | 薬剤部 | 60 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(奨励研究) |
| アルブミン濃度と赤血球分画を考慮したがん化学療法の処方設計に関する研究 | 齊藤 麻美 | 薬剤部 | 30 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(奨励研究) |
| 集中治療室で使用される注射剤の文献調査と配合変化試験に基づく配合変化早見表の開発 | 武田 真樹 | 薬剤部 | 60 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(奨励研究) |
| ボルテゾミブ末梢神経障害モデル動物による保護薬物の探索研究 | 白濱 雅史 | 薬剤部 | 60 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(奨励研究) |
| 抗がん剤投与に伴う血管障害の発現機序に関する研究 | 山田孝明 | 薬剤部 | 30 万円 | 補 | 財団法人福岡県すこやか健康事業団 |
| ダウン症における睡眠呼吸障害に関する調査 | 安藤 眞一 | 睡眠時無呼吸センター | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(挑戦的萌芽研究) |
| 簡便で非侵襲的な覚醒中の口輪筋トレーニングによる、閉塞性睡眠時無呼吸の治療法確立 | 西坂 麻里 | 睡眠時無呼吸センター | 156 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(基盤研究C) |
| 睡眠時無呼吸患者の血管内皮障害及び早期腎障害マーカとしてのNgalの確立 | 吉村 力 | 睡眠時無呼吸センター | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(基盤研究C) |
| 孫が祖父母を救う | 野中 和明 | 小児歯科・スペシャルニーズ歯科 | 260 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(挑戦的萌芽研究) |
| 早老症をモデルとした老化制御機構の解明に関する小児歯科的アプローチ | 山座 治義 | 小児歯科・スペシャルニーズ歯科 | 247 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(基盤研究C) |
| ミトコンンドリアの形態変化と口腔顎顔面組織発生との関係解明 | 増田 啓次 | 小児歯科・スペシャルニーズ歯科 | 104 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(基盤研究C) |
| 臓器固有細胞ー浸潤炎症細胞間相互作用から捉える歯周医学の分子基盤 | 西村 英紀 | 歯周病科 | 871 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(基盤研究B) |
| マクロファージと共存する歯髄細胞で発現変動する分子群の網羅的解析 | 西村 英紀 | 歯周病科 | 65 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(挑戦的萌芽研究) |
| 二相分配法による安定型高次構造リポ多糖の分離と病原性の解析 | 藤瀬 修 | 歯周病科 | 117 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(挑戦的萌芽研究) |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額（万円） | 補助元又は委託元 | |
|---|---|---|---|---|---|
| グラム陰性菌によるLPS-DNA複合体産生の証明と歯周炎におけるその強毒性の解明 | 三浦 真由美 | 歯周病科 | 208 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| bFGFシグナル伝達のアンタゴニストを標的とした歯周組織再生治療薬の創薬 | 讃井 彰一 | 歯周病科 | 208 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 新規エナメル基質蛋白会合分子を標的とした歯周組織再生のプロテオーム創薬 | 福田 隆男 | 歯周病科 | 117 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 口腔扁平上皮癌におけるΔNp63を介した上皮-間葉転換の浸潤・転移における役割 | 後藤 雄一 | 顎口腔外科 | 117 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 口蓋裂患者の語音弁別能と音響分析の関連性について | 辻口 友美 | 顎口腔外科 | 52 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 口唇裂口蓋裂発症の候補遺伝子群における関連解析を用いた遺伝的要因の究明 | 新井 伸作 | 顎口腔外科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 口腔扁平上皮癌新規治療法の確立～サイトケラチン17発現機序の検索～ | 北村 亮二 | 顎口腔外科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |
| 完全連通構造を有する海綿骨形態のβTCPフォームの創製 | 二階堂 太郎 | 顎口腔外科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援） |
| 近赤外線、MRI、超音波を用いたシェーグレン症候群の非侵襲的画像診断法の確立 | 清水 真弓 | 口腔画像診断科 | 104 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| MRIによる頭頸部病変のpermeability及びperfusionの総合評価 | 筑井 徹 | 口腔画像診断科 | 143 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C） |
| 咀嚼運動と記憶・認知機能の関連 | 中村 優子 | 口腔画像診断科 | 169 万円 | 補 | 文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究B） |

合計 317 件

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名 | 所属診療科 | 題　　　名 | 雑　誌　名 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 上田 尚靖 | 第一内科 | The cytotoxic effects of certolizumab pegol and golimumab mediated by transmembrane tumor necrosis factor α | Inflamm Bowel Dis. 2013 May;19(6):1224-31. |
| 2 | 古川 牧緒 | 第一内科 | Prevalence and risk factors of vertebral fracture in female Japanese patients with systemic lupus erythematosus | Mod heumatol. 2013 Jul;23(4):765-73. |
| 3 | 宮本 敏浩 | 第一内科 | Combination of high-dose melphalan and bortezomib as conditioning regimen for autologous peripheral blood stem cell transplantation in multiple myeloma | Int J Hematol. 2013 Sep;98(3):337-45. |
| 4 | 鄭 湧 | 第一内科 | Community spread of extended-spectrum β-lactamase-producing Escherichia coli, Klebsiella pneumoniae and Proteus mirabilis: a long-term study in Japan | J Med Microbiol. 2013 Jul;62(Pt 7):1038-43. |
| 5 | 鄭 湧 | 第一内科 | Antibiotic rotation for febrile neutropenic patients with hematological malignancies: clinical significance of antibiotic heterogeneity | PLoS One. 2013;8(1):e54190. |
| 6 | 江﨑 幹宏 | 第二内科 | Use of capsule endoscopy in patients with Crohn's disease in Japan: a multicenter survey | J Gastroenterol Hepatol. 2014 Jan;29(1):96-101. |
| 7 | 鎌倉 幸子 | 第三内科 | The cell polarity protein mInsc regulates neutrophil chemotaxis via a noncanonical G protein signaling pathway | Dev Cell. 2013 Aug ;26(3):292-302. |
| 8 | 坂本 竜一 | 第三内科 | Roles for corticotropin-releasing factor receptor type 1 in energy homeostasis in mice | Metabolism. 2013 ;62(12):1739-48. |
| 9 | 伊藤 鉄英 | 第三内科 | Role of Extrachromosomal Histone H2B on Recognition of DNA Viruses and Cell Damage | Front Genet. 2013 May 23;4:91. |
| 10 | 伊藤 鉄英 | 第三内科 | Criteria for the diagnosis and severity stratification of acute pancreatitis | World J Gastroenterol. 2013 Sep 21;19(35):5798-805. |
| 11 | 伊藤 鉄英 | 第三内科 | Phase II study of sunitinib in Japanese patients with unresectable or metastatic, well-differentiated pancreatic neuroendocrine tumor | Invest New Drugs. 2013 Oct;31(5):1265-74. |
| 12 | 伊藤 鉄英 | 第三内科 | Zollinger-Ellison syndrome: recent advances and controversies | Curr Opin Gastroenterol. 2013 Nov;29(6):650-61. |
| 13 | 伊藤 鉄英 | 第三内科 | PSCs and GLP-1R: occurrence in normal pancreas, acute/chronic pancreatitis and effect of their activation by a GLP-1R agonist | Lab Invest. 2014 Jan;94(1):63-78. |
| 14 | 伊藤 鉄英 | 第三内科 | Treatment strategy for main duct intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas based on the assessment of recurrence in the remnant pancreas after resection: a retrospective review | Ann Surg. 2014 Feb;259(2):360-8. |
| 15 | 五十嵐 久人 | 第三内科 | Pancreatic involvement in Japanese patients with von Hippel-Lindau disease: results of a nationwide survey | J Gastroenterol. 2014 Mar;49(3):511-6. |

(様式第3)

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名 | 所属診療科 | 題　名 | 雑　誌　名 |
|---|---|---|---|---|
| 16 | 新名 雄介 | 第三内科 | A sustained prostacyclin analog, ONO-1301, attenuates pancreatic fibrosis in experimental chronic pancreatitis induced by dibutyltin dichloride in rats | Pancreatology. 2014 May-Jun;14(3):201-10. |
| 17 | 板場 壮一 | 第三内科 | Prospective, randomized, double-blind, placebo-controlled trial of ulinastatin for prevention of hyperenzymemia after double balloon endoscopy via the antegrade approach | Dig Endosc. 2013 Jul;25(4):421-7. |
| 18 | 麻生 暁 | 第三内科 | Key endoscopic ultrasound features of pancreatic ductal adenocarcinoma smaller than 20 mm | Scand J Gastroenterol. 2014 Mar;49(3):332-8. |
| 19 | 伊原 栄吉 | 第三内科 | Mucosal-incision assisted biopsy for suspected gastric gastrointestinal stromal tumors | World J Gastrointest Endosc:2013:Apr: 5(4):191-196 |
| 20 | 廣岡 良隆 | 循環器内科/冠動脈疾患治療部 | Central neuregulin-1/ErbB signaling modulates cardiac function via sympathetic activity in pressure overload-induced heart failure | J Hypertens. 2014 Apr;32(4):817-25. |
| 21 | 香月 俊輔 | 循環器内科/冠動脈疾患治療部 | Nanoparticle-mediated delivery of pitavastatin inhibits atherosclerotic plaque destabilization/rupture in mice by regulating the recruitment of inflammatory monocytes | Circulation. 2014 Feb 25;129(8):896-906. |
| 22 | 井手 友美 | 循環器内科/冠動脈疾患治療部 | Striking volume intolerance is induced by mimicking arterial baroreflex failure in normal left ventricular function | J Card Fail. 2014 Jan;20(1):53-9. |
| 23 | 廣岡 良隆 | 循環器内科/冠動脈疾患治療部 | Potential clinical application of recently discovered brain mechanisms involved in hypertension | Hypertension. 2013 Dec;62(6):995-1002. |
| 24 | 岸 拓弥 | 循環器内科/冠動脈疾患治療部 | Telmisartan reduces mortality and left ventricular hypertrophy with sympathoinhibition in rats with hypertension and heart failure | Am J Hypertens. 2014 Feb;27(2):260-7. |
| 25 | 廣岡 良隆 | 循環器内科/冠動脈疾患治療部 | Moxonidine-induced central sympathoinhibition improves prognosis in rats with hypertensive heart failure | J Hypertens. 2013 Nov;31(11):2300-8; |
| 26 | 鬼塚 健 | 循環器内科/冠動脈疾患治療部 | Cardiac phase-targeted dynamic load on left ventricle differentially regulates phase-sensitive gene expressions and pathway activation | J Mol Cell Cardiol. 2013 Nov;64:30-8. |
| 27 | 的場 哲也 | 循環器内科/冠動脈疾患治療部 | Mouse models of plaque rupture | Curr Opin Lipidol. 2013 Oct;24(5):419-25. |
| 28 | 廣岡 良隆 | 循環器内科/冠動脈疾患治療部 | Partially silencing brain toll-like receptor 4 prevents in part left ventricular remodeling with sympathoinhibition in rats with myocardial infarction-induced heart failure | PLoS One. 2013 Jul 9;8(7):e69053. |
| 29 | 井手 友美 | 循環器内科/冠動脈疾患治療部 | The overexpression of Twinkle helicase ameliorates the progression of cardiac fibrosis and heart failure in pressure overload model in mice | PLoS One. 2013 Jun 28;8(6):e67642. |
| 30 | 北本 史朗 | 循環器内科/冠動脈疾患治療部 | Deletion of phd2 in myeloid lineage attenuates hypertensive cardiovascular remodeling | J Am Heart Assoc. 2013 Jun 18;2(3):e000178. |

(様式第3)

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名 | 所属診療科 | 題　　名 | 雑　誌　名 |
|---|---|---|---|---|
| 31 | 北本 史朗 | 循環器内科/冠動脈疾患治療部 | Chitinase inhibition promotes atherosclerosis in hyperlipidemic mice | Am J Pathol. 2013 Jul;183(1):313-25. |
| 32 | 砂川 賢二 | 循環器内科/冠動脈疾患治療部 | Prolyl hydroxylase domain protein 2 plays a critical role in diet-induced obesity and glucose intolerance | Circulation. 2013 May 28;127(21):2078-87. |
| 33 | 廣岡 良隆 | 循環器内科/冠動脈疾患治療部 | Brain sigma-1 receptor stimulation improves mental disorder and cardiac function in mice with myocardial infarction | J Cardiovasc Pharmacol. 2013 Aug;62(2):222-8. |
| 34 | 砂川 賢二 | 循環器内科/冠動脈疾患治療部 | Role of hypothalamic angiotensin type 1 receptors in pressure overload-induced mineralocorticoid receptor activation and salt-induced sympathoexcitation | Hypertens Res. 2013 Jun;36(6):513-9. |
| 35 | 江頭 健輔 | 循環器内科/冠動脈疾患治療部 | Pitavastatin-incorporated nanoparticle-eluting stents attenuate in-stent stenosis without delayed endothelial healing effects in a porcine coronary artery model | J Atheroscler Thromb. 2013;20(1):32-45. |
| 36 | 岡村恭子 | 呼吸器科 | Diagnostic value of CEA and CYFRA 21-1 tumor markers in primary lung cancer | Lung Cancer. 2013 Apr;80(1):45-9. |
| 37 | 山田一彦 | 呼吸器科 | Phase II trial of erlotinib for Japanese patients with previously treated non-small-cell lung cancer harboring EGFR mutations: results of Lung Oncology Group in Kyushu (LOGiK0803) | Jpn J Clin Oncol. 2013 Jun;43(6):629-35. |
| 38 | 高山浩一 | 呼吸器科 | Phase II study of concurrent thoracic radiotherapy in combination with weekly paclitaxel plus carboplatin in locally advanced non-small cell lung cancer: LOGIK0401 | Cancer Chemother Pharmacol. 2013 Dec;72(6):1353-9. |
| 39 | Kang JH | 呼吸器科 | Serum protein kinase C$\alpha$ as a diagnostic biomarker of cancers | Cancer Biomark. 2013;13(2):99-103. |
| 40 | 小暮啓人 | 呼吸器科 | Histology and smoking status predict survival of patients with advanced non-small-cell lung cancer. Results of West Japan Oncology Group (WJOG) Study 3906L | J Thorac Oncol. 2013 Jun;8(6):753-8. |
| 41 | 竹下正文 | 呼吸器科 | Aurora-B overexpression is correlated with aneuploidy and poor prognosis in non-small cell lung cancer | Lung Cancer. 2013 Apr;80(1):85-90. |
| 42 | 王 碩 | 呼吸器科 | Nicotine induces resistance to epidermal growth factor receptor tyrosine kinase inhibitor by a 1 nicotinic acetylcholine receptor-mediated activation in PC9 cells | J Thorac Oncol:2013 Jun;8(6):719-25 |
| 43 | 古山和人 | 呼吸器科 | Sensitivity and kinase activity of epidermal growth factor receptor (EGFR) exon 19 and others to EGFR-tyrosine kinase inhibitors | Cancer Sci. 2013 May;104(5):584-9. |
| 44 | 松元 幸一郎 | 呼吸器科 | Corticosteroids plus long-acting $\beta$2-agonists prevent double-stranded RNA-induced upregulation of B7-H1 on airway epithelium | Int Arch Allergy Immunol. 2013;160(1):27-36. |
| 45 | 福山 聡 | 呼吸器科 | Effects of tiotropium on lung function in severe asthmatics with or without emphysematous changes | Pulm Pharmacol Ther. 2013 Apr;26(2):159-66. |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名 | 所属診療科 | 題　　名 | 雑　誌　名 |
|---|---|---|---|---|
| 46 | 松元 幸一郎 | 呼吸器科 | Mast cells contribute to double-stranded RNA-induced augmentation of airway eosinophilia in a murine model of asthma | Respir Res. 2013 Mar 4;14:28. |
| 47 | 松元 幸一郎 | 呼吸器科 | PI3K-delta mediates double-stranded RNA-induced upregulation of B7-H1 in BEAS-2B airway epithelial cells | Biochem Biophys Res Commun. 2013 May 31;435(2):195-201. |
| 48 | 松元 幸一郎 | 呼吸器科 | Cigarette smoke impairs phagocytosis of apoptotic neutrophils by alveolar macrophages via inhibition of the histone deacetylase/Rac/CD9 pathways | Int Immunol. 2013 Nov;25(11):643-50. |
| 49 | 米田 智子 | 産科婦人科 | Association of MDM2 SNP309 and TP53 Arg72Pro polymorphisms with risk of endometrial cancer | Oncol Rep:2013 Jul, 30(1):25-34 |
| 50 | 杉谷 麻伊子 | 産科婦人科 | A new method for measurement of placental elasticity: acoustic radiation force impulse imaging | Placenta:2013 Nov, 34(11):1009-1013 |
| 51 | 大寺 由佳 | 産科婦人科 | Correlation between regular mouthing movements and heart rate patterns during non-rapid eye movement periods in normal human fetuses between 32 and 40 weeks of gestation | Early Hum Dev:2013 Jun, 89(6):381-386 |
| 52 | 諸隈 誠一 | 産科婦人科 | Relationship between arousal response in newborn infants before micturition and bed-wetting from 5 to 7 years of age | Early Hum Dev:2013 Dec, 89(12):989-991 |
| 53 | 落合 正行 | 産科婦人科 | Survival and neurodevelopmental outcome of preterm infants born at 22-24 weeks of gestational age | Neonatology:2014 105(2):79-84 |
| 54 | 土居 岳彦 | 小児科 | Long-term liposteroid therapy for idiopathic pulmonary hemosiderosis | Eur J Pediatr. 2013 Nov;172(11):1475-81. |
| 55 | 石村 匡崇 | 小児科 | A non-invasive diagnosis of histiocytic necrotizing lymphadenitis by means of gene expression profile analysis of peripheral blood mononuclear cells | J Clin Immunol. 2013 Jul;33(5):1018-26. |
| 56 | 大賀 正一 | 小児科 | Pediatric presentation and outcome of congenital protein C deficiency in Japan | Haemophilia. 2013 May;19(3):378-84. |
| 57 | 井藤 奈央子 | 小児科 | Hypothalamic pituitary complications in Kabuki syndrome | Pituitary. 2013 Jun;16(2):133-8. |
| 58 | 永田 弾 | 小児科 | Left ventricular efficiency after ligation of patent ductus arteriosus for premature infants | J Thorac Cardiovasc Surg. 2013 Dec;146(6):1353-8. |
| 59 | 酒井 康成 | 小児科 | Neuroendocrine phenotypes in a boy with 5q14 deletion syndrome implicate the regulatory roles of myocyte-specific enhancer factor 2C in the postnatal hypothalamus | Eur J Med Genet. 2013 Sep;56(9):475-83. |
| 60 | 山村 健一郎 | 小児科 | Thrombocytosis in asplenia syndrome with congenital heart disease: A previously unrecognized risk factor for thromboembolism | Int J Cardiol. 2013 Sep 1;167(5):2259-63. |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名 | 所属診療科 | 題　　　名 | 雑　誌　名 |
|---|---|---|---|---|
| 61 | 土居　岳彦 | 小児科 | Limited renal prophylaxis in regular plasmatherapy for heritable ADAMTS13 deficiency | Pediatr Blood Cancer. 2013 Sep;60(9):1557-8. |
| 62 | 永井　英司 | 第一外科 | Feasibility and safety of intracorporeal esophagojejunostomy after laparoscopic total gastrectomy: inverted T-shaped anastomosis using linear staplers | Surgery. 2013 May;153(5):732-8. |
| 63 | 大塚　隆生 | 第一外科 | Role of endoscopic retrograde pancreatography for early detection of pancreatic ductal adenocarcinoma concomitant with intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas | J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2013 Mar;20(3):356-61. |
| 64 | 小薗　真吾 | 第一外科 | Pirfenidone inhibits pancreatic cancer desmoplasia by regulating stellate cells | Cancer Res. 2013 Apr 1;73(7):2345-56. |
| 65 | 進藤　幸治 | 第一外科 | Podoplanin expression in cancer-associated fibroblasts enhances tumor progression of invasive ductal carcinoma of the pancreas | Mol Cancer. 2013 Dec 20;12(1):168. |
| 66 | 小薗　真吾 | 第一外科 | S100A4 mRNA expression level is a predictor of radioresistance of pancreatic cancer cells | Oncol Rep. 2013 Oct;30(4):1601-8. |
| 67 | 森　泰寿 | 第一外科 | A minimally invasive and simple screening test for detection of pancreatic ductal adenocarcinoma using biomarkers in duodenal juice | Pancreas. 2013 Mar;42(2):187-92. |
| 68 | 藤原　謙次 | 第一外科 | Migratory activity of CD105+ pancreatic cancer cells is strongly enhanced by pancreatic stellate cells | Pancreas. 2013 Nov;42(8):1283-90. |
| 69 | 江口　大樹 | 第一外科 | MAL2 expression predicts distant metastasis and short survival in pancreatic cancer | Surgery. 2013 Sep;154(3):573-82. |
| 70 | 井出野　昇 | 第一外科 | Intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas with distinct pancreatic ductal adenocarcinomas are frequently of gastric subtype | Ann Surg. 2013 Jul;258(1):141-51. |
| 71 | 池上　徹 | 第二外科 | Transplantation: 3D printing of the liver in living donor liver transplantation | Nat Rev Gastroenterol Hepatol. 2013 Dec;10(12):697-8. |
| 72 | 間野　洋平 | 第二外科 | Preoperative neutrophil-to-lymphocyte ratio is a predictor of survival after hepatectomy for hepatocellular carcinoma: a retrospective analysis | Ann Surg. 2013 Aug;258(2):301-5. |
| 73 | 宇都宮　徹 | 第二外科 | Nationwide study of 4741 patients with non-B non-C hepatocellular carcinoma with special reference to the therapeutic impact | Ann Surg. 2014 Feb;259(2):336-45. |
| 74 | 内山　秀昭 | 第二外科 | Revisiting the safety of living donors by reassessing 441 donor hepatectomies: A larger hepatectomy is complication-prone? | Am J Transplant. 2014 Feb;14(2):367-74. |
| 75 | 岩佐　憲臣 | 第二外科 | Molecular analysis of ATP-sensitive $K^+$ channel subunits expressed in mouse vas deferens myocytes | Br J Pharmacol. 2014 Jan;171(1):145-57. |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名 | 所属診療科 | 題　　名 | 雑　誌　名 |
|---|---|---|---|---|
| 76 | 播本　憲史 | 第二外科 | Sarcopenia as a predictor of prognosis in patients following hepatectomy for hepatocellular carcinoma | Br J Surg. 2013 Oct;100(11):1523-30. |
| 77 | 佐伯　浩司 | 第二外科 | Newly developed liver-retraction method for laparoscopic gastric surgery using a silicone disc: the $\phi$-shaped technique | J Am Coll Surg. 2013 May;216(5):e43-6 |
| 78 | 藤村　謙次郎 | 整形外科 | CD4 T cell-intrinsic IL-2 signaling differentially affects Th1 and Th17 development | J Leukoc Biol. 2013 Aug;94(2):271-9. |
| 79 | 趙　嘎日達 | 整形外科 | Cholesterol- and lanolin-rich diets may protect against steroid-induced osteonecrosis in rabbits | Acta Orthop. 2013 Dec;84(6):593-7. |
| 80 | 久保田　健介 | 整形外科 | Disturbance of rib cage development causes progressive thoracic scoliosis: the creation of a nonsurgical structural scoliosis model in mice | J Bone Joint Surg Am. 2013 Sep 18;95(18):e130. |
| 81 | 田代　泰隆 | 整形外科 | Effects of adalimumab administration in bio-naïve and bio-switch rheumatoid arthritis patients in daily clinical practice : two-year results from single center | Fukuoka Igaku Zasshi. 2013 Nov;104(11):413-23. |
| 82 | 西川　和孝 | 整形外科 | Improved design decreases wear in total knee arthroplasty with varus malalignment | Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2013 Apr 16. |
| 83 | 濵井　敏 | 整形外科 | In vivo healthy knee kinematics during dynamic full flexion | Biomed Res Int. 2013;2013:717546. |
| 84 | 大崎　幹仁 | 整形外科 | Influences of knee flexion angle and portal position on the location of femoral tunnel outlet in anterior cruciate ligament reconstruction with anteromedial portal technique | Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2013 Oct 9. |
| 85 | 松原　弘和 | 整形外科 | Intercondylar roof impingement after anatomic double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction in patients with knee hyperextension | Am J Sports Med. 2013 Dec;41(12):2819-27. |
| 86 | 川原　慎也 | 整形外科 | Internal Rotation of Femoral Component Affects Functional Activities After TKA-Survey With The 2011 Knee Society Score | J Arthroplasty. 2013 Dec 1. pii: S0883-5403(13)00862-0. |
| 87 | 原　大介 | 整形外科 | Late failure of annealed highly cross-linked polyethylene acetabular liner | J Mech Behav Biomed Mater. 2013 Dec;28:206-12. |
| 88 | 岡本　重敏 | 整形外科 | Lateral soft tissue laxity increases but medial laxity does not contract with varus deformity in total knee arthroplasty | Clin Orthop Relat Res. 2013 Apr;471(4):1334-42. |
| 89 | 濵井　敏 | 整形外科 | Physiological sagittal plane patellar kinematics during dynamic deep knee flexion | Int Orthop. 2013 Aug;37(8):1477-82. |
| 90 | 中島　康晴 | 整形外科 | Results at a minimum of 10 years of follow-up for AMS and PerFix HA-coated cementless total hip arthroplasty: impact of cross-linked polyethylene on implant longevity | J Orthop Sci. 2013 Nov;18(6):962-8. |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名 | 所属診療科 | 題　名 | 雑　誌　名 |
|---|---|---|---|---|
| 91 | 平田 正伸 | 整形外科 | Surgeon error in performing intraoperative estimation of stem anteversion in cementless total hip arthroplasty | J Arthroplasty. 2013 Oct;28(9):1648-53. |
| 92 | 熊丸 浩仁 | 整形外科 | Therapeutic activities of engrafted neural stem/precursor cells are not dormant in the chronically injured spinal cord | Stem Cells. 2013 Aug;31(8):1535-47. |
| 93 | 中溝 玲 | 脳神経外科 | Long-term hearing outcome after retrosigmoid removal of vestibular schwannoma | Neurol Med Chir (Tokyo). 2013;53(10):688-94. |
| 94 | 中溝 玲 | 脳神経外科 | Posterior transjugular and transcervical approach for glomus tumours within the head and neck | Br J Neurosurg. 2013 Apr;27(2):212-7. |
| 95 | 吉本 幸司 | 脳神経外科 | Clinical features and pathophysiological mechanism of the hemianoptic complication after the occipital transtentorial approach | Clin Neurol Neurosurg. 2013 Aug;115(8):1250-6. |
| 96 | 井上 大輔 | 脳神経外科 | Preliminary study on the clinical application of augmented reality neuronavigation | J Neurol Surg A Cent Eur Neurosurg. 2013 Mar;74(2):71-6. |
| 97 | 吉本 幸司 | 脳神経外科 | Surgical techniques for the dissection of encased perforators in giant clinoidal meningiomas | Acta Neurochir (Wien). 2013 Aug;155(8):1409-12. |
| 98 | 村上 信哉 | 脳神経外科 | Usefulness of three-dimensional T1-weighted spoiled gradient-recalled echo and three-dimensional heavily T2-weighted images in preoperative evaluation of spinal dysraphism | Childs Nerv Syst. 2013 Oct;29(10):1905-14. |
| 99 | 吉川 雄一郎 | 脳神経外科 | Radiation-induced spinal cord glioblastoma with cerebrospinal fluid dissemination subsequent to treatment of lymphoblastic lymphoma | Surg Neurol Int. 2013;4:27. doi: 10.4103/2152-7806. |
| 100 | 天野 敏之 | 脳神経外科 | Facial nerve schwannoma arising from the cerebellopontine angle | Neurol Med Chir (Tokyo). 2013;53(4):242-4. |
| 101 | 天野 敏之 | 脳神経外科 | A fibrotic nodule arising from the cerebellopontine angle | Brain Tumor Pathol. 2013 Apr;30(2):122-7. |
| 102 | 溝口 昌弘 | 脳神経外科 | Pediatric glioblastoma with oligodendroglioma component: aggressive clinical phenotype with distinct molecular characteristics | Neuropathology. 2013 Dec;33(6):652-7. |
| 103 | 吉川 雄一郎 | 脳神経外科 | Preoperative evaluation and surgical strategies for craniocervical junction dural arteriovenous fistula with multiple feeders: case report and review of the literature | Fukuoka Igaku Zasshi. 2013 Sep;104(9):299-308. |
| 104 | 飯原 弘二 | 脳神経外科 | Hybrid operating room for the treatment of complex neurovascular and brachiocephalic lesions | J Stroke Cerebrovasc Dis. 2013 Nov;22(8):e277-85. |
| 105 | 飯原 弘二 | 脳神経外科 | Incidence and risk factors of chronic subdural hematoma after aneurysmal clipping | World Neurosurg. 2013 Nov;80(5):534-7. |

(様式第3)

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名 | 所属診療科 | 題　　　　名 | 雑　誌　名 |
|---|---|---|---|---|
| 106 | 飯原 弘二 | 脳神経外科 | Examination timing and lesion patterns in diffusion-weighted magnetic resonance imaging of patients with classically defined transient ischemic attack | J Stroke Cerebrovasc Dis. 2013 Nov;22(8):e310-6. |
| 107 | 飯原 弘二 | 脳神経外科 | Impact of posterior cerebral artery involvement on long-term clinical and social outcome of pediatric moyamoya disease | J Neurosurg Pediatr. 2013 Dec;12(6):626-32. |
| 108 | 飯原 弘二 | 脳神経外科 | Fatal multiple systemic emboli after intravenous thrombolysis for cardioembolic stroke | J Stroke Cerebrovasc Dis. 2014 Feb;23(2):395-7. |
| 109 | 飯原 弘二 | 脳神経外科 | Pregnancy-associated intracranial hemorrhage: results of a survey of neurosurgical institutes across Japan | J Stroke Cerebrovasc Dis. 2014 Feb;23(2):e65-71. |
| 110 | 飯原 弘二 | 脳神経外科 | Features of patients with transient monocular blindness: a multicenter retrospective study in Japan | J Stroke Cerebrovasc Dis. 2014 Mar;23(3):e151-5. |
| 111 | 飯原 弘二 | 脳神経外科 | Factors associated with onset-to-door time in patients with transient ischemic attack admitted to stroke centers | Stroke. 2014 Feb;45(2):611-3. |
| 112 | 飯原 弘二 | 脳神経外科 | Endovascular treatment for ruptured vertebral artery dissecting aneurysms: results from Japanese Registry of Neuroendovascular Therapy (JR-NET) 1 and 2 | Neurol Med Chir (Tokyo). 2014;54(2):98-106. |
| 113 | 飯原 弘二 | 脳神経外科 | Incidence of late cerebrovascular events after direct bypass among children with moyamoya disease: a descriptive longitudinal study at a single center | Acta Neurochir (Wien). 2014 Mar;156(3):551-9 |
| 114 | 飯原 弘二 | 脳神経外科 | An integrated stroke model with a consistent penumbra for the assessment of neuroprotective interventions | Eur Neurol. 2014;71(1-2):4-18. |
| 115 | 西田 誉浩 | 心臓血管外科 | Mechanical prosthesis is reasonable for mitral valve replacement in patients approximately 65 years of age | Ann Thorac Surg. 2013 Nov;96(5):1614-20. |
| 116 | 田ノ上 禎久 | 心臓血管外科 | Left ventricular performance after aortic valve replacement in patients with low ejection fraction | J Artif Organs. 2013 Dec;16(4):443-50. |
| 117 | 永田 公二 | 小児外科 | The current profile and outcome of congenital diaphragmatic hernia: a nationwide survey in Japan | J Pediatr Surg. 2013 Apr;48(4):738-44. |
| 118 | 永田 公二 | 小児外科 | Current profile and outcome of 100 esophageal atresia patients in the Kyushu area of Japan | Open Journal of Pediatrics 3(3) July 2013 :239-242 |
| 119 | 宗崎 良太 | 小児外科 | An augmented reality navigation system for pediatric oncologic surgery based on preoperative CT and MRI images | J Pediatr Surg. 2013 Dec;48(12):2479-83. |
| 120 | 宗崎 良太 | 小児外科 | Laparoscopic resection of an isolated retroperitoneal enteric duplication in an infant | Journal of Pediatric Surgery Case Reports 1(7), July 2013:167-170 |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名 | 所属診療科 | 題名 | 雑誌名 |
|---|---|---|---|---|
| 121 | 手柴 理沙 | 小児外科 | Identification of a KEAP1 germline mutation in a family with multinodular goitre | PLoS One. 2013 May 28;8(5):e65141. |
| 122 | 独 孤龍 | 皮膚科・油症ダイオキシンセンター | Neuronatin is related to keratinocyte differentiation by up-regulating involucrin | J Dermatol Sci. 2014 Mar;73(3):225-31. |
| 123 | 朱 里 | 皮膚科・油症ダイオキシンセンター | Aberrant expression of S100A6 and matrix metalloproteinase 9, but not S100A2, S100A4, and S100A7, is associated with epidermal carcinogenesis | J Dermatol Sci. 2013 Dec;72(3):311-9. |
| 124 | 幸田 太 | 皮膚科・油症ダイオキシンセンター | Decrease of reactive oxygen species and reciprocal increase of nitric oxide in human dermal endothelial cells by Bidens pilosa extract: a possible explanation of its beneficial effect on livedo vasculopathy | J Dermatol Sci. 2013 Oct;72(1):75-7. |
| 125 | 古賀 沙緒里 | 皮膚科・油症ダイオキシンセンター | Reduction of CC-chemokine ligand 5 by aryl hydrocarbon receptor ligands | J Dermatol Sci. 2013 Oct;72(1):9-15. |
| 126 | 佐伯 秀久 | 皮膚科・油症ダイオキシンセンター | Genetic polymorphisms in the IL22 gene are associated with psoriasis vulgaris in a Japanese population | J Dermatol Sci. 2013 Aug;71(2):148-50. |
| 127 | 松本 伸哉 | 皮膚科・油症ダイオキシンセンター | Individuals' half-lives for 2,3,4,7,8-penta-chlorodibenzofuran (PeCDF) in blood: correlation with clinical manifestations and laboratory results in subjects with Yusho | Chemosphere. 2013 Aug;92(7):772-7. |
| 128 | 朱 里 | 皮膚科・油症ダイオキシンセンター | Expression of S100 protein family members in normal skin and sweat gland tumors | J Dermatol Sci. 2013 Jun;70(3):211-9. |
| 129 | 栗原 雄一 | 皮膚科・油症ダイオキシンセンター | Interferon-γ enhances phorbol myristate acetate-induced cell attachment and tumor necrosis factor production via the NF-κB pathway in THP-1 human monocytic cells | Mol Med Rep. 2013 Jun;7(6):1739-44. |
| 130 | 逸見 百江 | 泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 | Human heterochromatin protein 1 isoforms regulate androgen receptor signaling in prostate cancer | J Mol Endocrinol. 2013 Apr 23;50(3):401-9. |
| 131 | 塩田 真己 | 泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 | Interaction between docetaxel resistance and castration resistance in prostate cancer: implications of Twist1, YB-1, and androgen receptor | Prostate. 2013 Sep;73(12):1336-44. |
| 132 | 今田 憲二郎 | 泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 | Mutual regulation between Raf/MEK/ERK signaling and Y-box-binding protein-1 promotes prostate cancer progression | Clin Cancer Res. 2013 Sep 1;19(17):4638-50. |
| 133 | 高橋 良輔 | 泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 | Hyperexcitability of bladder afferent neurons associated with reduction of Kv1.4 α-subunit in rats with spinal cord injury | J Urol. 2013 Dec;190(6):2296-304. |
| 134 | 神庭 重信 | 精神科神経科 | A placebo-controlled, double-blind study of the efficacy and safety of aripiprazole for the treatment of acute manic or mixed episodes in Asian patients with bipolar I disorder (the AMAZE study) | World J Biol Psychiatry. 2014 Feb;15(2):113-21. |
| 135 | 織部 直弥 | 精神科神経科 | Early and late stages of visual processing in individuals in prodromal state and first episode schizophrenia: an ERP study | Schizophr Res. 2013 May;146(1-3):95-102. |

(様式第3)

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名 | 所属診療科 | 題　名 | 雑　誌　名 |
|---|---|---|---|---|
| 136 | 前川 敏彦 | 精神科神経科 | Altered visual information processing systems in bipolar disorder: evidence from visual MMN and P3 | Front Hum Neurosci. 2013 Jul 26;7:403. |
| 137 | 鬼塚 俊明 | 精神科神経科 | Neurophysiological findings in patients with bipolar disorder | Suppl Clin Neurophysiol. 2013;62:197-206. |
| 138 | 鬼塚 俊明 | 精神科神経科 | Review of neurophysiological findings in patients with schizophrenia | Psychiatry Clin Neurosci. 2013 Nov;67(7):461-70. |
| 139 | 中尾 新太郎 | 眼科 | Altered vascular microenvironment by bevacizumab in diabetic fibrovascular membrane | Retina. 2013 May;33(5):957-63. |
| 140 | 石川 桂二郎 | 眼科 | Periostin promotes the generation of fibrous membranes in proliferative vitreoretinopathy | FASEB J. 2014 Jan;28(1):131-42. |
| 141 | 趙 英準 | 眼科 | A Novel Platelet-Activating Factor Receptor Antagonist Inhibits Choroidal Neovascularization and Subretinal Fibrosis | PLoS One. 2013 Jun 27;8(6):e68173. |
| 142 | 安里 良 | 眼科 | Comparison of gene expression profile of epiretinal membranes obtained from eyes with proliferative vitreoretinopathy to that of secondary epiretinal membranes | PLoS One. 2013;8(1):e54191. |
| 143 | 納富 昭司 | 眼科 | Dynamic increase in extracellular ATP accelerates photoreceptor cell apoptosis via ligation of P2RX7 in subretinal hemorrhage | PLoS One. 2013;8(1):e53338. |
| 144 | 吉武 忠正 | 放射線科 | Definitive fractionated re-irradiation for local recurrence following stereotactic body radiotherapy for primary lung cancer | Anticancer Res. 2013 Dec;33(12):5649-53. |
| 145 | 栂尾 理 | 放射線科 | Amide proton transfer imaging of adult diffuse gliomas: correlation with histopathological grades | Neuro Oncol. 2014 Mar;16(3):441-8. |
| 146 | 山下 孝二 | 放射線科 | High-resolution three-dimensional diffuse-weighted imaging of middle ear cholesteatoma at 3.0 T MRI: usefulness of 3D turbo field-echo with diffusion-sensitized driven-equilibrium preparation(TFE-DSDE) compared to single-shot echo-planar imaging | European Journal of Radiology 2013Sep;82(9):471-5. |
| 147 | 長尾 充展 | 放射線科 | Quantification of myocardial iron deficiency in nonischemic heart failure by cardiac T2* magnetic resonance imaging | Am J Cardiol. 2014 Mar 15;113(6):1024-30. |
| 148 | 神谷 武志 | 放射線科 | Correlations between apparent diffusion coefficient values and prognostic factors of breast cancer | Magn Reson Med Sci. 2013;12(3):193-9. |
| 149 | 丸岡 保博 | 放射線科 | Usefulness of partial volume effect-corrected F-18 FDG PET/CT for predicting I-131 accumulation in the metastatic lymph nodes of patients with thyroid carcinoma | Ann Nucl Med. 2013 Dec;27(10):873-9. |
| 150 | 西江 昭弘 | 放射線科 | Clinicopathological significance of the peritumoral decreased uptake area of gadolinium ethoxybenzyl diethylenetriamine pentaacetic acid in hepatocellular carcinoma | J Gastroenterol Hepatol. 2014 Mar;29(3):561-7. |

（様式第3)

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名 | 所属診療科 | 題　　名 | 雑　誌　名 |
|---|---|---|---|---|
| 151 | 高山　幸久 | 放射線科 | Three-dimensional T2-weighted imaging for liver MRI: Clinical values of tissue-specific variable refocusing flip-angle turbo spin echo imaging | J Magn Reson Imaging. 2014 Jan 8 |
| 152 | 米澤　政人 | 放射線科 | Relationship between impaired cardiac sympathetic activity and spatial dyssynchrony in patients with non-ischemic heart failure: assessment by MIBG scintigraphy and tagged MRI | J Nucl Cardiol. 2013 Aug;20(4):600-8. |
| 153 | 大賀　才路 | 放射線科 | Radiotherapy for early-stage primary ocular adnexal mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma | Anticancer Res. 2013 Dec;33(12):5575-8. |
| 154 | 古庄　憲浩 | 総合診療科 | Valuable antiviral therapeutic options for the treatment of chronic hepatitis C patients with thrombocytopenia | J Viral Hepat. 2013 Dec;20(12):838-46. |
| 155 | 古庄　憲浩 | 総合診療科 | Telaprevir can be successfully and safely used to treat older patients with genotype 1b chronic hepatitis C | J Hepatol. 2013 Aug;59(2):205-12. |
| 156 | 古庄　憲浩 | 総合診療科 | Early phase viral kinetics of chronic hepatitis C patients receiving telaprevir-based triple therapy: a comparison of two real-time PCR assays | Antiviral Res. 2013 Aug;99(2):119-24. |
| 157 | 古庄　憲浩 | 総合診療科 | Clinical milestones for the prediction of severe anemia by chronic hepatitis C patients receiving telaprevir-based triple therapy | J Hepatol. 2013 Oct;59(4):667-74. |
| 158 | 古庄　憲浩 | 総合診療科 | Telaprevir-based triple therapy for chronic hepatitis C patients with advanced fibrosis: a prospective clinical study | Aliment Pharmacol Ther. 2013 Nov;38(9):1076-85. |
| 159 | 古庄　憲浩 | 総合診療科 | Plasma glycated albumin level and atherosclerosis: results from the Kyushu and Okinawa Population Study (KOPS) | Int J Cardiol. 2013 Sep 1;167(5):2066-72. |
| 160 | 白水　和宏 | 麻酔科蘇生科・手術部 | Cystathionine γ-lyase deficiency protects mice from galactosamine/lipopolysaccharide-induced acute liver failuree | Antioxid Redox Signal. 2014 Jan 10;20(2):204-16. |
| 161 | 東　みどり子 | 麻酔科蘇生科・手術部 | Diastolic dysfunction of the left ventricle is associated with pulmonary edema after renal transplantation | Acta Anaesthesiol Scand. 2013 Oct;57(9):1154-60. |
| 162 | 井上博之 | 先端分子・細胞治療科 | Multimodal immunogenic cancer cell death as a consequence of anticancer cytotoxic treatments | Cell Death Differ. 2014 Jan;21(1):39-49. |
| 163 | 山口沙織 | 先端分子・細胞治療科 | Characterization of common marmoset dysgerminoma-like tumor induced by the lentiviral expression of reprogramming factors | Cancer Sci. 2014 Apr;105(4):402-8. |
| 164 | 二井偉暢 | 先端分子・細胞治療科 | Analysis of essential pathways for self-renewal in common marmoset embryonic stem cells | FEBS Open Bio. 2014 Feb 21;4:213-9. |
| 165 | 方静　嫻 | 検査部 | Dihydro-orotate dehydrogenase is physically associated with the respiratory complex and its loss leads to mitochondrial dysfunction | Biosci Rep. 2013 Feb 5;33(2):e00021. |

(様式第3)

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名 | 所属診療科 | 題　　　名 | 雑　誌　名 |
|---|---|---|---|---|
| 166 | 神吉 智丈 | 検査部 | Casein kinase 2 is essential for mitophagy | EMBO Rep. 2013 Sep;14(9):788-94. |
| 167 | 内海 健 | 検査部 | Mutation and functional analysis of ABCC2/multidrug resistance protein 2 in a Japanese patient with Dubin-Johnson syndrome | Hepatol Res. 2013 May;43(5):569-75. |
| 168 | 廣田 有子 | 検査部 | Rab GTPases in autophagy; Current topic of Rab32 involvement with autophagy | In Tech:2013: |
| 169 | 樋渡 昭雄 | 放射線部 | Diffusivity of intraorbital lymphoma vs. IgG4-related DISEASE: 3D turbo field echo with diffusion-sensitised driven-equilibrium preparation technique | Eur Radiol. 2014 Mar;24(3):581-6. |
| 170 | 樋渡 昭雄 | 放射線部 | Evaluation of diffusivity in the anterior lobe of the pituitary gland: 3D turbo field echo with diffusion-sensitized driven-equilibrium preparation | AJNR Am J Neuroradiol. 2014 Jan;35(1):95-8. |
| 171 | 中村 和正 | 放射線部 | Diffusion pattern of low dose rate brachytherapy for prostate cancer in Japan | Cancer Sci. 2013 Jul;104(7):934-6. |
| 172 | 近藤 雅敏 | 放射線部 | Feasibility of low-radiation-dose CT for abdominal examinations with hybrid iterative reconstruction algorithm: low-contrast phantom study | Radiol Phys Technol. 2013 Jul;6(2):287-92. |
| 173 | 寶部 真也 | 放射線部 | A preliminary study for exploring the luminance ratio of liquid-crystal displays required for display of radiographs | Radiol Phys Technol. 2014 Jan;7(1):73-8. |
| 174 | 山下 泰生 | 放射線部 | Computer-aided differential diagnosis system for Alzheimer's disease based on machine learning with functional and morphological image features in magnetic resonance imaging | Journal of Biomedical Science and Engineering, 2013, 6, 1090-1098 |
| 175 | 河窪 正照 | 放射線部 | Evaluation of cardiac dyssynchrony with longitudinal strain analysis in 4-chamber cine MR imaging | Eur J Radiol. 2013 Dec;82(12):2212-6. |
| 176 | 相島 慎一 | 病理診断科・病理部 | Different roles of inducible nitric oxide synthase and cyclooxygenase-2 in carcinogenesis and metastasis of intrahepatic cholangiocarcinoma | Hum Pathol. 2013 Jun;44(6):1031-7. |
| 177 | 孝橋 賢一 | 病理診断科・病理部 | Glypican 3 expression in tumors with loss of SMARCB1/INI1 protein expression | Hum Pathol. 2013 Apr;44(4):526-33. |
| 178 | 間野 洋平 | 病理診断科・病理部 | Decreased roundabout 1 expression promotes development of intrahepatic cholangiocarcinoma | Hum Pathol. 2013 Nov;44(11):2419-26. |
| 179 | 中野 貴史 | 病理診断科・病理部 | HER2 and EGFR gene copy number alterations are predominant in high-grade salivary mucoepidermoid carcinoma irrespective of MAML2 fusion status | Histopathology. 2013 Sep;63(3):378-92. |
| 180 | 小田 康則 | 病理診断科・病理部 | Differential ezrin and phosphorylated ezrin expression profiles between pancreatic intraepithelial neoplasia, intraductal papillary mucinous neoplasm, and invasive ductal carcinoma of the pancreas | Hum Pathol. 2013 Aug;44(8):1487-98. |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名 | 所属診療科 | 題　　名 | 雑　誌　名 |
|---|---|---|---|---|
| 181 | 竹内 正久 | 病理診断科・病理部 | Ovarian transitional cell carcinoma represents a poorly differentiated form of high-grade serous or endometrioid adenocarcinoma | Am J Surg Pathol. 2013 Jul;37(7):1091-9. |
| 182 | 山元 英崇 | 病理診断科・病理部 | Fascin-1 overexpression and miR-133b downregulation in the progression of gastrointestinal stromal tumor | Mod Pathol. 2013 Apr;26(4):563-71. |
| 183 | 山元 英崇 | 病理診断科・病理部 | Clinicopathological features of primary leiomyosarcoma of the gastrointestinal tract following recognition of gastrointestinal stromal tumours | Histopathology. 2013 Aug;63(2):194-207. |
| 184 | 伏見 文良 | 病理診断科・病理部 | Peroxiredoxins, thioredoxin, and Y-box-binding protein-1 are involved in the pathogenesis and progression of dialysis-associated renal cell carcinoma | Virchows Arch. 2013 Oct;463(4):553-62. |
| 185 | 森松 克哉 | 病理診断科・病理部 | Insulin-like growth factor II messenger RNA-binding protein-3 is a valuable diagnostic and prognostic marker of intraductal papillary mucinous neoplasm | Hum Pathol. 2013 Sep;44(9):1714-21. |
| 186 | 薛 宇孝 | 病理診断科・病理部 | Prognostic impact of the activation status of the Akt/mTOR pathway in synovial sarcoma | Cancer. 2013 Oct 1;119(19):3504-13. |
| 187 | 山元 英崇 | 病理診断科・病理部 | Insulin-like growth factor II mRNA-binding protein 3 (IMP3) expression in gastrointestinal mesenchymal tumors | Human Pathology: 2014 Mar;45(3):481-7. |
| 188 | 山田 裕一 | 病理診断科・病理部 | Activation of the Akt-mTOR pathway and receptor tyrosine kinase in patients with solitary fibrous tumors | Cancer. 2014 Mar 15;120(6):864-76. |
| 189 | 國崎 祐哉 | 遺伝子・細胞療法部 | Arteriolar niches maintain haematopoietic stem cell quiescence | Nature 2013 Oct 31 502(7473):637-43. |
| 190 | 浅野 光一 | 光学医療診療部 | Impact of allele copy number of polymorphisms in FCGR3A and FCGR3B genes on susceptibility to ulcerative colitis | Inflamm Bowel Dis. 2013 Sep;19(10):2061-8. |
| 191 | 徐 号 | 先端医工学診療部 | New detachable occlusion balloon unit for transrectal natural orifice translumenal endoscopic surgery | Minim Invasive Ther Allied Technol. 2013 Jun;22(3):136-43. |
| 192 | 保坂 征司 | 先端医工学診療部 | Development of a novel controllable, multidirectional, reusable metallic port with a wide working space | Minim Invasive Ther Allied Technol. 2013 Dec;22(6):319-23. |
| 193 | 林 焯華 | 先端医工学診療部 | Objective skill evaluation for laparoscopic training based on motion analysis | IEEE Trans Biomed Eng. 2013 Apr;60(4):977-85. |
| 194 | 曹 柄炫 | 先端医工学診療部 | Warning navigation system using real-time safe region monitoring for otologic surgery | Int J Comput Assist Radiol Surg. 2013 May;8(3):395-405. |
| 195 | 堤 敬文 | 先端医工学診療部 | Image-guided laparoscopic surgery in an open MRI operating theater | Surg Endosc. 2013 Jun;27(6):2178-84. |

(様式第3)

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名 | 所属診療科 | 題 名 | 雑 誌 名 |
|---|---|---|---|---|
| 196 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | Phase I pharmacokinetic study of S-1 granules and nedaplatin for advanced head and neck cancer | Anticancer Res. 2013 Dec;33(12):5699-705. |
| 197 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | Human papillomavirus DNA and p16 expression in Japanese patients with oropharyngeal squamous cell carcinoma | Cancer Med. 2013 Dec;2(6):933-41. |
| 198 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | A phase I, pharmacokinetic and pharmacodynamic study of nimotuzumab in Japanese patients with advanced solid tumors | Cancer Chemother Pharmacol. 2013 Nov;72(5):1063-71. |
| 199 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | Randomized, open-label, phase III study comparing irinotecan with paclitaxel in patients with advanced gastric cancer without severe peritoneal metastasis after failure of prior combination chemotherapy using fluoropyrimidine plus platinum: WJOG 4007 trial | J Clin Oncol. 2013 Dec 10;31(35):4438-44. |
| 200 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | Postprogression survival for first-line chemotherapy in patients with advanced gastric cancer | Eur J Cancer. 2013 Sep;49(14):3003-9. |
| 201 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | A phase II study of cisplatin /S-1 in patients with carcinomas of unknown primary site | Invest New Drugs. 2013 Dec;31(6):1568-72. |
| 202 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | Molecularly targeted approaches herald a new era of non-small-cell lung cancer treatment | Cancer Manag Res. 2013 Jun 7;5:91-101. |
| 203 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | Efficacy and safety of weekly nab-paclitaxel plus carboplatin in patients with advanced non-small cell lung cancer | Lung Cancer. 2013 Jul;81(1):97-101. |
| 204 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | Phase 2 study of S-1 and carboplatin plus bevacizumab followed by maintenance S-1 and bevacizumab for chemotherapy-naive patients with advanced nonsquamous non-small cell lung cancer | Cancer. 2013 Jun 15;119(12):2275-81. |
| 205 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | Clinical impact of continued crizotinib administration after isolated central nervous system progression in patients with lung cancer positive for ALK rearrangement | J Thorac Oncol. 2013 May;8(5):654-7. |
| 206 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | Bronchoscopic findings for bevacizumab-related pulmonary hemorrhage in advanced non-small cell lung cancer | Invest New Drugs. 2013 Oct;31(5):1364-6. |
| 207 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | Pemetrexed and carboplatin followed by pemetrexed maintenance therapy in chemo-naïve patients with advanced nonsquamous non-small-cell lung cancer | Invest New Drugs. 2013 Oct;31(5):1275-82. |
| 208 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | Sorting nexin 2-mediated membrane trafficking of c-Met contributes to sensitivity of molecular-targeted drugs | Cancer Sci. 2013 May;104(5):573-83. |
| 209 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | Rapid response of brain metastasis to crizotinib in a patient with ALK rearrangement-positive non-small-cell lung cancer | J Thorac Oncol. 2013 Apr;8(4):e32-3. |
| 210 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | Phase I and pharmacokinetic study of gefitinib and S-1 combination therapy for advanced adenocarcinoma of the lung | Cancer Chemother Pharmacol. 2013 Apr;71(4):859-65. |

(様式第3)

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名 | 所属診療科 | 題名 | 雑誌名 |
|---|---|---|---|---|
| 211 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | Clinical response to crizotinib retreatment after acquisition of drug resistance | J Clin Oncol. 2013 Jul 1;31(19):e322-3. |
| 212 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | Efficacy and safety analysis according to histology for S-1 in combination with carboplatin as first-line chemotherapy in patients with advanced non-small-cell lung cancer: updated results of the West Japan Oncology Group LETS study | Ann Oncol. 2013 May;24(5):1326-31. |
| 213 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | Safety and efficacy of weekly nab®-paclitaxel in combination with carboplatin as first-line therapy in elderly patients with advanced non-small-cell lung cancer | Ann Oncol. 2013 Feb;24(2):314-21. |
| 214 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | Severe acute interstitial lung disease after crizotinib therapy in a patient with EML4-ALK-positive non-small-cell lung cancer | J Clin Oncol. 2013 Jan 1;31(1):e15-7. |
| 215 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | A phase I study of S-1 with concurrent radiotherapy in elderly patients with locally advanced non-small cell lung cancer | Invest New Drugs. 2013 Jun;31(3):599-604. |
| 216 | 岡本 勇 | ARO次世代医療センター | Phase II study of bi-weekly irinotecan for patients with previously treated HER2-negative metastatic breast cancer: KMBOG0610B | Breast Cancer. 2013 Apr;20(2):131-6. |
| 217 | 岩本 千佳 | がんセンター | The BALB/c-specific polymorphic SIRPA enhances its affinity for human CD47, inhibiting phagocytosis against human cells to promote xenogeneic engraftment | Exp Hematol. 2014 Mar;42(3):163-171.e1. |
| 218 | 安藤 眞一 | 睡眠時無呼吸センター | The effects of the L/N-type calcium channel blocker (cilnidipine) on sympathetic hyperactive morning hypertension: results from ACHIEVE-ONE | J Clin Hypertens (Greenwich). 2013 Feb;15(2):133-42. |
| 219 | 安藤 眞一 | 睡眠時無呼吸センター | Effect of a novel calcium channel blocker on abnormal nocturnal blood pressure in hypertensive patients | J Clin Hypertens (Greenwich). 2013 Jul;15(7):465-72. |
| 220 | 安藤 眞一 | 睡眠時無呼吸センター | Patient factors against stable control of warfarin therapy for Japanese non-valvular atrial fibrillation patients | Thromb Res. 2013 Nov;132(5):537-42. |
| 221 | 山口 登 | 小児歯科・スペシャルニーズ歯科 | Clinical approach to a suspected case of first branchial arch syndrome | Case Rep Med. 2014;2014:506804. |
| 222 | 山座治義 | 小児歯科・スペシャルニーズ歯科 | Immune therapeutic potential of stem cells from human supernumerary teeth | J Dent Res. 2013 Jul;92(7):609-15. |
| 223 | 河野 清美 | 歯内治療科 | Exposure to transforming growth factor-$\beta$1 after basic fibroblast growth factor promotes the fibroblastic differentiation of human periodontal ligament stem/progenitor cell lines | Cell Tissue Res. 2013 May;352(2):249-63. |
| 224 | 西村 英紀 | 歯周病科 | Improvement of glycated hemoglobin in Japanese subjects with type 2 diabetes by resolution of periodontal inflammation using adjunct topical antibiotics: results from the Hiroshima Study | Diabetes Res Clin Pract. 2013 Apr;100(1):53-60. |
| 225 | 西村 英紀 | 歯周病科 | Pain-releasing action of platelet-activating factor (PAF) antagonists in neuropathic pain animal models and the mechanisms of action | Eur J Pain. 2013 Sep;17(8):1156-67. |

(様式第3)

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名 | 所属診療科 | 題　　名 | 雑　誌　名 |
|---|---|---|---|---|
| 226 | 西村　英紀 | 歯周病科 | RASSF6 expression in adipocytes is down-regulated by interaction with macrophages | PLoS One. 2013 Apr 23;8(4):e61931. |
| 227 | 西村　英紀 | 歯周病科 | Integrator complex plays an essential role in adipose differentiation | Biochem Biophys Res Commun. 2013 May 3;434(2):197-202. |
| 228 | 西村　英紀 | 歯周病科 | Resistin-like molecule β is abundantly expressed in foam cells and is involved in atherosclerosis development | Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2013 Aug;33(8):1986-93. |
| 229 | 西村　英紀 | 歯周病科 | Par14 protein associates with insulin receptor substrate 1 (IRS-1), thereby enhancing insulin-induced IRS-1 phosphorylation and metabolic actions | J Biol Chem. 2013 Jul 12;288(28):20692-701. |
| 230 | 西村　英紀 | 歯周病科 | The inflammation-lipocalin 2 axis may contribute to the development of chronic kidney disease | Nephrol Dial Transplant. 2014 Mar;29(3):611-8. |
| 231 | 松﨑　英津子 | 歯周病科 | Lactobacillus casei strain Shirota protects against nonalcoholic steatohepatitis development in a rodent model | Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. 2013 Dec;305(12):G911-8. |
| 232 | 松﨑　英津子 | 歯周病科 | Sphingosine-1-phosphate promotes the nuclear translocation of β-catenin and thereby induces osteoprotegerin gene expression in osteoblast-like cell lines | Bone. 2013 Aug;55(2):315-24. |
| 233 | 福田　隆男 | 歯周病科 | Identification of novel amelogenin-binding proteins by proteomics analysis | PLoS One. 2013 Oct 22;8(10):e78129. |
| 234 | 藤瀬　修 | 歯周病科 | The pga gene cluster in Aggregatibacter actinomycetemcomitans is necessary for the development of natural competence in Ca(2+) -promoted biofilms | Mol Oral Microbiol. 2014 Apr;29(2):79-89. |
| 235 | 中尾　祐 | 顎口腔外科 | Fibroblast growth factors 7 and 10 are involved in ameloblastoma proliferation via the mitogen-activated protein kinase pathway | Int J Oncol. 2013 Nov;43(5):1377-84. |
| 236 | 神田　詩織 | 顎口腔外科 | Anti-apoptotic role of the sonic hedgehog signaling pathway in the proliferation of ameloblastoma | Int J Oncol. 2013 Sep;43(3):695-702. |
| 237 | 見立　英二 | 顎口腔外科 | Carcinoma ex pleomorphic adenoma of the upper lip: a case of an unusual malignant component of squamous cell carcinoma | World J Surg Oncol. 2013 Sep 17;11:234. |
| 238 | 後藤　雄一 | 顎口腔外科 | Possible involvement of ΔNp63 downregulation in the invasion and metastasis of oral squamous cell carcinoma via induction of a mesenchymal phenotype | Clin Exp Metastasis. 2014 Mar;31(3):293-306. |
| 239 | 豊嶋　健史 | 顎口腔外科 | Primary Stability of a Hybrid Implant Compared with Tapered and Cylindrical Implants in an Ex Vivo Model | Clin Implant Dent Relat Res. 2014 Feb 9. |
| 240 | 中村　優子 | 口腔画像診断科 | Localization of the primary taste cortex by contrasting passive and attentive conditions | Exp Brain Res. 2013 Jun;227(2):185-97. |

(様式第3)

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

| 番号 | 発表者氏名 | 所属診療科 | 題　　名 | 雑　誌　名 |
|---|---|---|---|---|
| 241 | 加美　由紀子 | 口腔画像診断科 | A new method for displaying the lingual artery using high-resolution three-dimensional phase-contrast magnetic resonance angiography | Int J Oral Maxillofac Surg. 2013 Nov;42(11):1494-8. |
| 242 | 渡邊　裕之 | 薬剤部 | Decrease in venous irritation by adjusting the concentration of injected bendamustine | Biol Pharm Bull. 2013;36(4):574-8. |
| 243 | 内田　まやこ | 薬剤部 | Effectiveness and safety of antiemetic aprepitant in Japanese patients receiving high-dose chemotherapy prior to autologous hematopoietic stem cell transplantation | Biol Pharm Bull. 2013;36(5):819-24 |
| 244 | 江頭　伸明 | 薬剤部 | Cholinergic involvement and synaptic dynamin 1 expression in Yokukansan-mediated improvement of spatial memory in a rat model of early Alzheimer's disease | Phytother Res. 2013 Jul;27(7):966-72. |
| 245 | 内田　まやこ | 薬剤部 | Efficacy and safety of aprepitant in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation | Pharmacotherapy. 2013 Sep;33(9):893-901. |
| 246 | 江頭　伸明 | 薬剤部 | Neurotropin® relieves oxaliplatin-induced neuropathy via Gi protein-coupled receptors in the monoaminergic descending pain inhibitory system | Life Sci. 2014 Mar 7;98(1):49-54. |
| 247 | 江頭　伸明 | 薬剤部 | Oxaliplatin induces hypomyelination and reduced neuregulin 1 expression in the rat sciatic nerve | Neurosci Res. 2014 Mar;80:86-90. |

合計　247 件

(様式第3)

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

### (2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

| 番号 | 発表者氏名 | 所属診療科 | 題　　名 | 雑　誌　名 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 天野　敏之 | 脳神経外科 | 頭蓋形成術後に骨融解を来した小児頭部外傷例から学んだこと、および対応策の検討 | 脳神経外科 41(3): 263-267 |
| 2 | 土持　諒輔 | 脳神経外科 | Classic medulloblastomaとdesmoplastic/nodular medulloblastomaの術前画像と病理学的特徴についての検討 | CI研究 35(1): 7-12 |
| 3 | 清島　圭二郎 | 泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 | BCG注入後膀胱生検の意義と施行時期に関する検討 | 泌尿外 26 (3): 311-312, 2013 |
| 4 | 川嵜　弘詔 | 精神科神経科 | 特集:様々な気分障害患者を今どう治療するか」、展望:「DSM-5を迎えて気分障害はどう変わっていくか、そして薬物療法はどうあるべきか | 臨床精神薬理、(2013, 第16巻9号,1271-1286) |
| 5 | 川嵜　弘詔 | 精神科神経科 | 大うつ病性障害の予後予測因子とうつ病患者の治療反応として評価すべき因子 | Depression Journal. (2013, 1 (2), 4-8) |
| 6 | 廣瀬　貴章 | 放射線科 | $^{192}$Ir密封小線源腔内治療時の植込み型除細動器(ICD)に対する吸収線量評価 | 日本放射線技術学会雑誌 70(3), 230-234, 2014-03 |
| 7 | 古賀　結 | 検査部 | 新たに開発された電流検出型DNAチップ診断薬を用いた子宮頸部がん組織におけるヒトパピローマウイルス(HPV)高リスク型別検出の臨床的検討 | 臨床化学:2013:140-145 |
| 8 | 清祐　麻紀子 | 検査部 | 無菌病棟における大規模清掃時の環境汚染状況とその評価 | 環境感染誌:2013:334-341 |
| 9 | 内海　健 | 検査部 | ミトコンドリア蛋白p32の病態機能解析 | 臨床病理:2013:493-500 |
| 10 | 康　東天 | 検査部 | 臨床検査値の標準化の問題点 | 臨床と研究:2013:950-959 |
| 11 | 康　東天 | 検査部 | ミトコンドリア遺伝子検査 | 臨床病理:2013:1035-1043 |
| 12 | 康　東天 | 検査部 | 疾患の制御・修飾因子としてのミトコンドリア | 生化学:2013:160-166 |
| 13 | 康　東天 | 検査部 | 臨床検査値の共用基準範囲の設定 | 日本内科学会雑誌:2013:3088-3095 |
| 14 | 康　東天 | 検査部 | 臨床検査値をどう読むか | 臨床と研究:2013:857-862 |
| 15 | 清祐　麻紀子 | 検査部 | 必須データ　細菌検査 -材料別上位検出菌、薬剤耐性菌分離状況、抗菌薬耐性状況、アンチバイオグラム- | INFECTION CONTROL:2013:973-979 |

（様式第3）

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

### (2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文（任意）

| 番号 | 発表者氏名 | 所属診療科 | 題　　名 | 雑　誌　名 |
|---|---|---|---|---|
| 16 | 清祐　麻紀子 | 検査部 | 「臨床検査技師の一日：細菌検査業務と感染対策」 | INFECTION CONTROL:2013:54-57 |
| 17 | 工藤孔梨子 | 光学医療診療部 | 遠隔医療教育のための日本国内の商用回線によるDVTS接続の試み | 日本遠隔医療学会雑誌 2010 Oct, 9(2):176-179 |
| 18 | 賀来典之 | 先端医工学診療部 | 福岡市都市圏における小児救急搬送の現状 | 日本臨床救急医学会雑誌 別冊 日臨救急医会誌 (JJSEM) Vol.16, No.2, 2013: 64-69 |
| 19 | 中村昌太郎 | 先端医工学診療部 | 空・回腸悪性リンパ腫168例の臨床病理学的特徴－X線・内視鏡所見を中心に | 胃と腸 第48巻第10号別冊: 1461-1473, 2013 |
| 20 | 宗崎良太 | 先端医工学診療部 | Xゲートを用いた胃内手術にて摘出した毛髪胃石の1例 | 日本小児外科学会雑誌 49(5): 1018-1021, 2013 |
| 21 | 増田啓次 | 小児歯科・スペシャルニーズ歯科 | 先天性全盲，精神遅滞および下垂体機能低下症を合併する透明中隔視神経異形成症の患児に全身麻酔下で歯科治療を行った1例 | 日本障害者歯科学会雑誌:2013 35(1): 22 -27 |
| 22 | 増田啓次 | 小児歯科・スペシャルニーズ歯科 | Hallermann, Streiff症候群に歯肉腫瘤を伴う先天歯を認めた1例 | 小児歯科学会雑誌:2013 51(4): 461-466 |
| 23 | 増田啓次 | 小児歯科・スペシャルニーズ歯科 | Langer-Giedion症候群に埋伏過剰歯，永久歯萌出遅延，叢生を認めた1例 | 小児歯科学会雑誌:2013 51(4): 467 -472 |
| 24 | 野中　和明 | 小児歯科・スペシャルニーズ歯科 | 6か月齢でLowe症候群と診断された1症例の歯科的所見 | 小児歯科学会雑誌:2013 51(4): 473 -478 |
| 25 | 山田　孝明 | 薬剤部 | 無菌病棟における大規模清掃時の環境汚染状況とその評価 | 環境感染誌 2013年6月 |
| 26 | 大石　了三 | 薬剤部 | 大学病院における実務実習の改善とその評価 | 九州薬学会会報 2013年8月 |
| 27 | 大石　了三 | 薬剤部 | 調剤インシデントの分類に応じた危険度の推定 | 医療薬学 2013年9月 |
| 28 | 大石　了三 | 薬剤部 | ストークス式による予測沈降時間から考慮される市販注射薬のガラス片混入の危険性 | 医療薬学 2013年10月 |

合計　28 件

(様式第 3)

# 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 3　高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

| | |
|---|---|
| ①　倫理審査委員会の設置状況 | 有・無 |
| ②　倫理審査委員会の手順書の整備状況 | 有・無 |
| ・　手順書の主な内容<br>設置、任務、組織、委員長及び副委員長、議事、委員以外の者の出席、申請手続き及び審査結果の通知、書面審査、有害事象等への対応、実施状況報告、情報公開、記録の保存、秘密の保持、事務 | |
| ③　倫理審査委員会の開催状況 | 年１２回 |

（注）１　倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
２　「③倫理審査委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(2) 利益相反を管理するための措置

| | |
|---|---|
| ①　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況 | 有・無 |
| ②　利益相反の管理に関する規定の整備状況 | 有・無 |
| ・　規定の主な内容<br>目的、定義、対象事象、委員会、審議事項、ガイドライン、自己申告、審議・勧告等の手続、関係機関との連携、啓発運動、受付相談、守秘義務、情報公開、事務 | |
| ③　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況 | 年５回 |

（注）「③利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

| | |
|---|---|
| ①　臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況 | 年４回 |
| ・研修の主な内容<br>臨床研究の概要（必須知識）、臨床研究の立案から遂行まで、研究医療と規制、企業主導治験の遂行、ガイダンス「ＡＲＯ次世代医療センターの活用法」、認定試験 | |

（注）「①臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において実施実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとすること）。

(様式第 4)

## 高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

### 1 研修の内容

初期研修医は基本的に下記のとおり２年間研修を行っている。
内科６ヶ月（血液・腫瘍内科/免疫・膠原病・感染症内科、消化管内科/腎・高血圧・脳血管内科、
（１０科）　内分泌代謝・糖尿病内科/肝臓・膵臓・胆道内科、心療内科、神経内科、循環器内科、
呼吸器科、皮膚科、放射線科、総合診療科）
救急３ヶ月（救命救急センター）
選択必修３ヶ月（第一外科、第二外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、眼科、
（１３科）　泌尿器科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、麻酔科蘇生科、小児科、産科婦人科、精神科
神経科）
選択１１ヶ月（内科１０科＋救急＋選択必修１３科＋先端分子・細胞治療科＋病理部）
地域医療１ヶ月

歯科研修医は下記のとおり１年間研修を行っている。
プログラムＡ１（単独型研修方式）　：総合臨床研修、口腔保健科系（小児歯科・スペシャルニーズ
歯科、矯正歯科）研修
プログラムＡ２（単独型研修方式）　：保存系、補綴系、口腔外科系ローテート研修
プログラムＢ（臨床研修施設群方式）：総合臨床研修、地域医療研修

### 2 研修の実績

| | |
|---|---|
| 研修医の人数 | ３４６．２５人 |

（注）前年度の研修医の実績を記入すること。

### 3 研修統括者

| 研修統括者氏名 | 診療科 | 役職等 | 臨床経験年数 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|
| 赤司　浩一 | 血液・腫瘍内科 | 診療科長 | 29年 | |
| 赤司　浩一 | 免疫・膠原病・感染症内科 | 診療科長 | 29年 | |
| 北園　孝成 | 消化管内科 | 診療科長 | 30年 | |
| 北園　孝成 | 腎・高血圧・脳血管内科 | 診療科長 | 30年 | |
| 髙柳　涼一 | 内分泌代謝・糖尿病内科 | 診療科長 | 32年 | |
| 髙柳　涼一 | 肝臓・膵臓・胆道内科 | 診療科長 | 32年 | |
| 須藤　信行 | 心療内科 | 診療科長 | 26年 | |
| 吉良　潤一 | 神経内科 | 診療科長 | 35年 | |
| 砂川　賢二 | 循環器内科 | 診療科長 | 40年 | |
| 中西　洋一 | 呼吸器科 | 診療科長 | 34年 | |
| 加藤　聖子 | 産科婦人科 | 診療科長 | 28年 | |
| 原　寿郎 | 小児科 | 診療科長 | 37年 | |
| 田中　雅夫 | 第一外科 | 診療科長 | 40年 | |
| 前原　喜彦 | 第二外科 | 診療科長 | 37年 | |
| 岩本　幸英 | 整形外科 | 診療科長 | 36年 | |
| 飯原　弘二 | 脳神経外科 | 診療科長 | 27年 | |
| 富永　隆治 | 心臓血管外科 | 診療科長 | 39年 | |
| 田口　智章 | 小児外科 | 診療科長 | 35年 | |
| 古江　増隆 | 皮膚科 | 診療科長 | 34年 | |
| 内藤　誠二 | 泌尿器科・前立腺・腎臓・副腎外科 | 診療科長 | 40年 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 神庭　重信 | 精神科神経科 | 診療科長 | 33年 | |
| 石橋　達朗 | 眼科 | 診療科長 | 39年 | |
| 小宗　静男 | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 診療科長 | 39年 | |
| 本田　浩 | 放射線科 | 診療科長 | 35年 | |
| 外　須美夫 | 麻酔科蘇生科 | 診療科長 | 36年 | |
| 古庄　憲浩 | 総合診療科 | 副診療科長 | 19年 | |
| 門田　英輝 | 形成外科 | 診療科長 | 16年 | |
| 谷　憲三朗 | 先端分子・細胞治療科 | 診療科長 | 35年 | |
| 小田　義直 | 病理診断科・病理部 | 診療科長 | 27年 | |
| 野中　和明 | 小児歯科・スペシャルニーズ歯科 | 診療科長 | 35年 | |
| 髙橋　一郎 | 矯正歯科 | 診療科長 | 26年 | |
| 赤峰　昭文 | 歯内治療科 | 診療科長 | 40年 | |
| 西村　英紀 | 歯周病科 | 診療科長 | 29年 | |
| 古谷野　潔 | 義歯補綴科 | 診療科長 | 32年 | |
| 牧平　清超 | 咬合補綴科 | 副診療科長 | 16年 | |
| 中村　誠司 | 顎口腔外科 | 診療科長 | 32年 | |
| 森　悦秀 | 顔面口腔外科 | 診療科長 | 32年 | |
| 横山　武志 | 歯科麻酔科 | 診療科長 | 24年 | |
| 吉浦　一紀 | 口腔画像診断科 | 診療科長 | 31年 | |
| 樋口　勝規 | 口腔総合診療科 | 診療科長 | 40年 | |
| 森本　佳成 | 全身管理歯科 | 副診療科長 | 28年 | |

(注) 1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

# 高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

## 4　医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

| |
|---|
| ①　医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意） |
| ・研修の主な内容：①看護倫理研修, ②リーダーシップ研修, ③退院調整看護師育成研修, ④臨床研究担当看護師育成研修, ⑤問題解決技法研修<br>・研修の期間・実施回数：期間は平成25年度, 実施回数は①1回, ②2回, ③1回, ④1回, ⑤19名<br>・研修の参加人数：①22名, ②70名, ③14名, ④25名, ⑤19名 |
| ②　業務の管理に関する研修の実施状況（任意） |
| ・研修の主な内容：労務管理研修会<br>・研修の期間・実施回数：期間は平成25年度, 実施回数は1回<br>・研修の参加人数：136名 |
| ③　他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況 |
| ・研修の主な内容：①九州大学病院がんセミナー, ②福岡県メディカルスタッフがん医療研修会<br>・研修の期間・実施回数：期間は平成25年度, 実施回数は①5回, ②1回<br>・研修の参加人数：①297名, ②162名 |

(注) 1　高度の医療に関する研修について記載すること。
(注) 2　「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。なお、平成二十六年度中の業務報告においては、平成二十六年四月以降の実績（計画）を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかにすること）。

(様式第5)

# 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

| | |
|---|---|
| 計画・現状の別 | 1．計画　②．現状 |
| 管理責任者氏名 | 病院長　石橋達朗 |
| 管理担当者氏名 | 各診療科長 診療録管理室長 水元一博 放射線部長 本田浩 薬剤部長 増田智先 総務課長 原博文 医療連携センター長 中島直樹 医療管理課長 坂井光太郎 患者ｻｰﾋﾞｽ課長 黒石博行 |

| | | 保管場所 | 管理方法 |
|---|---|---|---|
| 診療に関する諸記録<br>各科診療日誌、手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書 | | | ・診療に関する諸記録及びエックス線写真は、平成20年2月1日以降の外来及び入院診療分から、電子カルテ及びPACS（医用画像）にて電子媒体保存している。<br>平成20年2月1日～平成24年12月31日までの一部診療に関する各科の記録書類（紹介状、入院診療計画書等）については、外来・入院文書フォルダーで診療録管理室にて一括保管している。平成25年1月1日からは全て電子媒体保存している。<br>平成20年1月以前の外来紙カルテは、診療録管理室にて一括中央管理化にて保管している。<br>・入院紙カルテは、平成17年4月1日退院患者より診療録管理室にて一括中央管理にて保管。それ以前のカルテは、各診療科にて保管管理している。<br>・電子化前のエックス線写真は各検査の種類により、各診療科及び放射線部が保管管理している。 |
| エックス線写真 | | 各診療科<br>放射線部 | |
| 処方せん | | 薬剤部 | |
| 病院日誌 | | 総務課 | |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 従業者数を明らかにする帳簿 | 総務課 | |
| | 高度の医療の提供の実績 | 患者サービス課 | |
| | 高度の医療技術の開発及び評価の実績 | 患者サービス課 | |
| | 高度の医療の研修の実績 | 総務課 | |
| | 閲覧実績 | 総務課 | |
| | 紹介患者に対する医療提供の実績 | 医療連携センター | |
| | 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿 | 患者サービス課<br>薬剤部 | |
| | 規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十第一項第一号に掲げる体制の確保状況：医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | 医療管理課 | |
| | 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | 医療管理課 | |
| | 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 医療管理課 | |
| | 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | 医療管理課 | |
| | 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 | 総務課 | |
| | 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | 総務課 | |
| | 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 | 総務課 | |
| | 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 | 患者サービス課 | |

<table>
<tr><th colspan="3"></th><th>保管場所</th><th>管理方法</th></tr>
<tr><td rowspan="12">病院の管理及び運営に関する諸記録</td><td rowspan="12">規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況</td><td>院内感染のための指針の策定状況</td><td>医療管理課</td><td rowspan="12"></td></tr>
<tr><td>院内感染対策のための委員会の開催状況</td><td>医療管理課</td></tr>
<tr><td>従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況</td><td>医療管理課</td></tr>
<tr><td>感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況</td><td>医療管理課</td></tr>
<tr><td>医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況</td><td>医療管理課</td></tr>
<tr><td>従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況</td><td>医療管理課</td></tr>
<tr><td>医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</td><td>医療管理課</td></tr>
<tr><td>医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</td><td>医療管理課</td></tr>
<tr><td>医療機器の安全使用のための責任者の配置状況</td><td>医療管理課</td></tr>
<tr><td>従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況</td><td>医療管理課</td></tr>
<tr><td>医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況</td><td>医療管理課</td></tr>
<tr><td>医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</td><td>医療管理課</td></tr>
</table>

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

# 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

## ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

| | | |
|---|---|---|
| 計画・現状の別 | 1．計画　　②．現状 | |
| 閲覧責任者氏名 | 事務部長 | |
| 閲覧担当者氏名 | 総務課長 | |
| 閲覧の求めに応じる場所 | 総務課 | |

閲覧の手続の概要

九州大学が保有する法人文書について「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、どなたでも、九州大学に対し開示を請求することができる。

【開示請求できる文書】
九州大学の役員又は職員が職務上作成又は取得した文書、図面、電磁的記録で職員が組織的に用いるものとして、九州大学において保有しているものが対象となる。
ただし、書籍等の市販物や、一般の閲覧に供するために特別の管理がなされている機関として総務省の指定を受けている九州大学附属図書館、九州大学大学文書館が保有する歴史的資料又は学術研究用資料等は開示請求の対象から除く。

【不開示となる文書】
開示請求を受けた法人文書は原則としてすべてを開示するが、不開示となる情報が記録されている場合は、その部分を除いて開示する。九州大学では、開示請求を受けた法人文書について、「九州大学における法人文書の開示請求基準」に基づき、開示・不開示を決定する。

【開示・不開示決定の通知】
法人文書の開示・不開示の決定は、原則として開示請求があった日から30日以内に行われ、その後速やかに開示請求者に通知する。開示決定期限が30日を超えて延長となる場合はその旨開示請求者に通知する。

【開示請求手数料、開示実施手数料】
○開示請求手数料　開示請求に係る法人文書1件につき300円
○開示実施手数料　開示決定後、開示の実施に際して、実施方法ごとに定められた開示実施手数料を納めなければならない。例として、閲覧による場合は100頁単位ごとに100円、写しの交付による場合は、1頁ごとに10円。なお、開示実施手数料は法人文書1件につき通常300円まで控除される。

【開示請求方法】
法人文書開示請求書に必要な事項を記載し、九州大学情報公開事務室に提出する（郵送可）。

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に〇印を付けること。

## ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

| | | |
|---|---|---|
| 前年度の総閲覧件数 | | 延　0 件 |
| 閲覧者別 | 医師 | 延　0 件 |
| | 歯科医師 | 延　0 件 |
| | 国 | 延　0 件 |
| | 地方公共団体 | 延　0 件 |

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

（様式第6）

## 規則第１条の１１第１項各号及び第９条の２３第１項第１号に掲げる体制の確保の状況

| ① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | 有 |
|---|---|

・ 指針の主な内容：

人は誰でも間違いを起こす可能性がある。一方、九州大学病院は特定機能病院として「患者に満足され、医療人も満足できる」医療を安全に提供するとともに、その医療の透明性を確保することを、社会から求められている。そこで本院はこの基本方針に従って、間違いを誘発しない環境や、医療上の事故等を未然に防ぐことができるシステム、ならびに医療上の事故等が発生した場合に適切に対応できる体制の構築に取り組む。

（１）医療安全管理委員会は病院長のもと関連部署・職員と連携し、医療の安全管理に取り組む。
（２）医療安全管理委員会は「医療安全管理マニュアル」を作成し、職員に周知する。
（３）職員は医療安全管理に関する教育や研修に年度内２回以上参加する。
（４）医療上の事故等が発生した場合、職員は医療上の最善の措置をすみやかに講じるとともに、患者・家族の身体・精神状態を考慮しつつ、事実を誠実かつすみやかに説明する。
（５）職員はインシデント·医療上の事故等が発生した場合には、各々の規程に従って報告する。
（６）医療安全管理委員会は医療の安全管理対策・改善策等の情報を職員にフィードバックし、職員全体での共有を図る。
（７）本院は医療の安全管理に関する基本方針を病院内掲示板等にて公開する。
（８）患者からの相談のうち、特に医療安全に係わりがあると判断された事例についてはセーフティマネージャーが対応する。

| ② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | 年 １２ 回 |
|---|---|

・ 活動の主な内容：

（１）医療事故防止のための具体的措置に関すること。
（２）医療安全管理マニュアルに関すること。
（３）医療安全に係る職員の教育及び研修に関すること。
（４）医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知に関すること。
（５）改善策の実施状況調査及び見直しに関すること。
（６）医療事故等発生時の診療録や看護記録等に関すること。
（７）医療事故等発生時の患者や家族への説明に関すること。
（８）インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。
（９）医療安全管理部（以下「安全管理部」という。）の業務に関すること。
（10）その他事故防止及び医療の安全性の向上等にかかる医療安全管理に関すること。

| ③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 年 ３７ 回 |
|---|---|

・ 研修の主な内容：別紙のとおり

| | |
|---|---|
| ④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | |
| ・ 医療機関内における事故報告等の整備 （ 有 ）<br>・ その他の改善のための方策の主な内容：<br>○インシデント情報の発信<br>日々報告のあるインシデント事例より特に警鐘を促すべき事例について毎月１回ニュース（ポスター）を作成、また日本医療機能評価機構からの医療安全情報や報道事例について院内職員へ注意喚起している。<br>○リスクマネージャーを対象とした研修会や来年予定されている医療事故調査制度の周知を目的とした研修会の開催<br>○歯科手術安全チェックリスト作成<br>○急性肺血栓塞栓症が疑われた時の対応を確立。<br>○再活性化Ｂ型肝炎予防対策院内基準作成中。<br>○中心静脈挿入マニュアル見直し中<br>○医療安全管理マニュアルとホームページの改訂。<br>○検証会の下部組織として「M&Mカンファレンス」の開催。 | |
| ⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 | 有（ ３ 名） |
| ⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | 有（ ５ 名） |
| ⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 | 有 |
| ・ 所属職員： 専任（ ３ ）名 兼任（ ２４ ）名<br>・ 活動の主な内容：<br>（１）委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他委員会の庶務に関すること。<br>（２）事故等に関する診療録や看護記録等への記載が、正確かつ十分になされていることの確認並びに指導に関すること。<br>（３）患者や家族への説明など、事故発生時の対応状況についての確認並びに指導に関すること。<br>（４）事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認並びに指導に関すること。<br>（５）医療安全に係る連絡調整に関すること。<br>（６）インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。<br>（７）医療安全に係る職員の教育・研修の企画・立案・実施等に関すること。<br>（８）各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づき、医療安全確保のための業務改善計画書の作成、それに基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果の記録に関すること。<br>（９）医療安全管理マニュアルの編集及び見直しに関すること。<br>（10）その他医療安全対策の推進に関すること。 | |
| ⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 | 有 |

（様式第 6）

# 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

| ① 院内感染対策のための指針の策定状況 | 有 |
|---|---|
| ・ 指針の主な内容：<br>院内感染対策に関する基本的な考え方<br>院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項<br>院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針<br>感染症の発生状況の報告に関する基本方針<br>院内感染発生時の対応に関する基本方針<br>患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針<br>その他本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 | |
| ② 院内感染対策のための委員会の開催状況 | 年12回 |
| ・ 活動の主な内容：<br>院内感染対策のための措置に関する審議<br>職員の教育・研修に関する審議<br>院内感染発生時の原因の分析究明、改善策の立案・実施、職員への周知 | |
| ③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 | 年37回 |
| ・ 研修の主な内容： 別紙のとおり | |
| ④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況 | |
| ・ 病院における発生状況の報告等の整備　（ 有 ）<br>・ その他の改善のための方策の主な内容：<br>・感染症法に基づく院内報告基準の改訂<br>・感染情報レポート等活用による情報共有と部署への指導<br>・アウトブレイク予兆ラウンド、早期介入<br>・ICT教育ラウンド・環境ラウンドでの標準予防策の遵守確認<br>・経路別予防策の指導・教育<br>・手指消毒剤使用量モニタリングと手指衛生遵守率確認<br>・ベストプラクティスの作成、遵守状況確認<br>・抗菌薬適正使用に向けた介入（血液培養陽性症例、抗MRSA薬・広域抗菌薬使用症例、カルバペネム系抗菌薬長期使用症例）<br>・交差感染防止のための自動蓄尿装置使用禁止 | |

（様式第 6）

# 医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|---|
| ① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況 | 有 |
| ② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 | 年 7 回 |

・ 研修の主な内容：別紙のとおり

③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

・ 手順書の作成　（ 有 ）
・ 業務の主な内容：

○看護師、薬剤師による病棟および外来詰所配置注射薬の管理状況チェック（週１回）

○薬剤師による病棟及び外来詰所配置薬剤全般の管理状況チェック（３ヶ月毎）

○救急カート内注射薬の見直し、期限チェック、入れ替え

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・ 医薬品に係る情報の収集の整備　（ 有 ）
・ その他の改善のための方策の主な内容：

○手順書の見直し

○情報の院内通知（ホームページ、電子メール、オーダシステム上）

特に重要な情報については、処方医に文書を送付

○副作用を収集して院内に周知するとともに、重篤事例を厚生労働省へ報告

○疑義照会データの共有による医師のオーダ内容の適正化

○類似名称薬剤の処方、調剤、与薬間違い防止のためにオーダ名称表示方法を工夫

（様式第6）

## 医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|---|
| ①　医療機器の安全使用のための責任者の配置状況 | 有 |
| ②　従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 | 年　３２　回 |

・　研修の主な内容：別紙のとおり

③　医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

・　計画の策定　　　　　（　有　）
・　保守点検の主な内容：

（１）人工心肺装置・補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置等の保守点検を行っている。

（２）日常点検（始業、使用中、終業）と定期点検を添付文書、取扱説明書、操作手順書により実施している。

④　医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・　医療機器に係る情報の収集の整備　　　　（　有　）
・　その他の改善のための方策の主な内容：

（１）院内情報は医療安全管理部に報告され、管理者及び医療安全管理責任者に情報が伝達される。

（２）院内情報は医薬品医療機器総合機構配信サービス等により情報を収集している。

（３）収集した情報は医療機器安全管理専門委員会において各委員会に報告し、関連部署へ周知している。

(様式第7)

## 専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

### 1　病院の機能に関する第三者による評価

| ①　病院の機能に関する第三者による評価の有無 | 有・無 |
|---|---|
| ・評価を行った機関名、評価を受けた時期<br>1）「公益財団法人日本医療機能評価機構」の「病院機能評価Ver. 6. 0」の更新審査を平成24年10月に受審し平成25年2月1日付けで認定（認定期間～平成30年1月27日）<br>2）「公益財団法人日本適合性認定協会」のISO15189（臨床検査室）の更新審査を平成25年11月に受審し平成26年3月26日付けで認定（認定期間～平成30年3月31日） | |

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

### 2　果たしている役割に関する情報発信

| ①　果たしている役割に関する情報発信の有無 | 有・無 |
|---|---|
| ・情報発信の方法、内容等の概要<br>○病院のホームページ<br>先進医療、がん診療（治療内容等）、臨床研究、医科・歯科臨床研修、医療連携、外来・入院案内、診療科の外来担当医・専門医、病院機能評価認定、トピックス等の情報を提供<br>○広報誌<br>1) 病院概要（県内病院、国立大学、官公庁向けに送付）<br>診療科、部、センター等の案内、病院統計資料等の情報を提供<br>2) 九大病院ニュース（県内外の病院、県医師（歯科医師）会、大学病院、官公庁向けに送付）<br>先進医療、臨床研究、医療連携、センター、トピックス等の情報を提供<br>3) 九大病院だより（患者向けに配布）<br>診療科・センターの診断・治療、外来診療日一覧、トピックス等の情報を提供<br>4) 診療科リーフレット（患者向けに配布）<br>病気の症状・治療法・検査内容等を案内<br>○記者懇談会<br>九州大学記者クラブ（新聞社、テレビ局）に本院の情報を提供（新治療法、施設設置等） | |